

第9回土岐川庄内川流域委員会  
河川整備計画（治水）の目標・整備メニュー（案）  
資料編

目次

1．整備計画（治水）（案）平面図 .....	1
2．水位縦断図	
（1）激特・復緊事業後の水位縦断図 .....	9
（2）整備計画（治水）（案）水位縦断図 .....	11
3．整備計画（治水）（案）標準横断図 .....	21
4．超過洪水（1/500）により越水氾濫が発生した時の氾濫浸水図の比較 .....	24

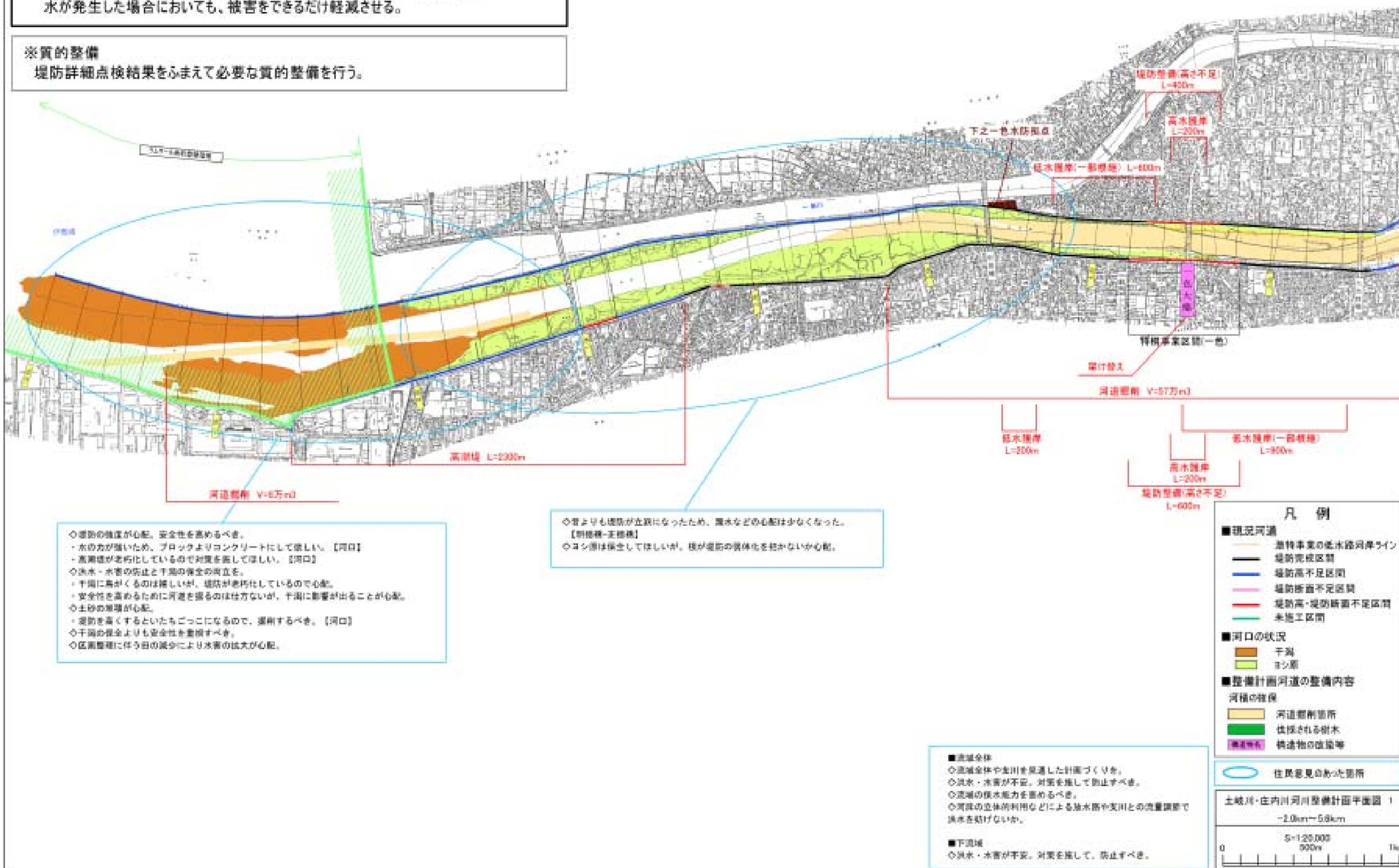
# 1. 整備計画(治水)(案)平面図

## ○整備目標

- 戦後最大流量となったH12.9東海豪雨、H元.9洪水と同規模の洪水を計画水位以下で安全に流下させる。
- 河川整備の目標流量を上回る洪水及び整備途上段階での施設能力以上の洪水が発生した場合においても、被害をできるだけ軽減させる。

## ※質的整備

堤防詳細点検結果をふまえて必要な質的整備を行う。



○堤防の強度が心配。安全性を高めるべき。  
 ・水の方が強いので、ブロックよりコンクリートにして欲しい。【河口】  
 ・高瀬堰が老朽化しているのでも対策を講じてほしい。【河口】  
 ○洪水・水害の防止と干涸の保全の両立を。  
 ・干涸に高くなるのは嬉しいが、堤防が老朽化しているのが心配。  
 ・安全性を高めるために河道を掘るのは仕方ないが、干涸に影響が出るのが心配。  
 ○土砂の堆積が心配。  
 ・運動を高くするといちごっこになるので、掘削するべき。【河口】  
 ○干涸の保全よりも安全性を重視すべき。  
 ○区画整理に伴う田の減少により水害の拡大が心配。

○昔よりも堤防が立派になったため、濁水などの心配は少なくなった。  
 【新橋-正橋】  
 ○コンクリートは保全してほしいが、堤防の質的改善を知らないが心配。

■流域全体  
 ○流域全体や支川を基とした計画づくりを。  
 ○洪水・水害が不安。対策を講じて防止すべき。  
 ○流域の保水能力を高めるべき。  
 ○河床の立体的利用などによる排水路や支川との流量調整で洪水を軽減したいか。

■下流域  
 ○洪水・水害が不安。対策を講じて、防止すべき。

### 凡例

■**現状河川**

- 黄線: 豊特事業の低水路河岸ライン
- 黒線: 堤防完成区画
- 青線: 堤防高不足区画
- 紫線: 堤防断面不足区画
- 赤線: 堤防高・堤防断面不足区画
- 緑線: 未施工区画

■**河口の状況**

- オレンジ: 干涸
- 緑: 砂原

■**整備計画河川の整備内容**

河床の確保

- 黄色: 河道掘削箇所
- 緑: 植栽される樹木
- 紫: 構造物の位置等

○ 住民意見のあった箇所

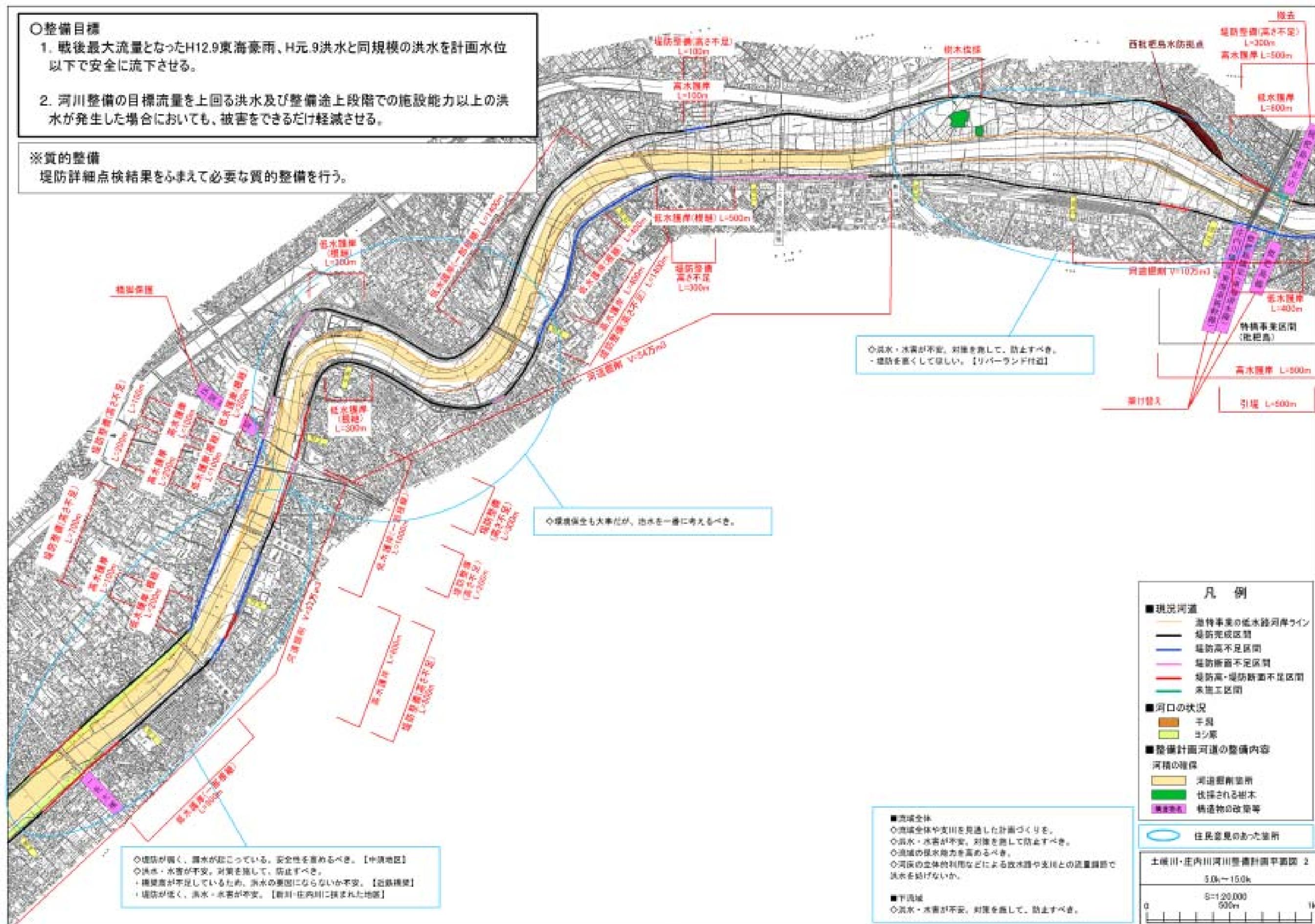
土城川・庄内川河川整備計画平面図 1  
 -2.0km~5.0km  
 S=1:120,000  
 0 500m 1km

○整備目標

1. 戦後最大流量となったH12.9東海豪雨、H元.9洪水と同規模の洪水を計画水位以下で安全に流下させる。
2. 河川整備の目標流量を上回る洪水及び整備途上段階での施設能力以上の洪水が発生した場合においても、被害をできるだけ軽減させる。

※質的整備

堤防詳細点検結果をふまえて必要な質的整備を行う。



○堤防が弱く、洪水が起こっている。安全性を高めるべき。【中津地区】  
 ○洪水・水害が不安。対策を急いで、防止すべき。  
 ・橋脚高が不足しているため、洪水の要因にならないか不安。【近鉄橋梁】  
 ・堤防が低く、洪水・水害が不安。【新川・庄内川に挟まれた地区】

○環境保全も大事だが、治水を一番に考えるべき。

○洪水・水害が不安。対策を急いで、防止すべき。  
 ・堤防を高くしてほしい。【リバーランド付道】

■流域全体  
 ○流域全体や支川を見通した計画づくりを。  
 ○洪水・水害が不安。対策を急いで、防止すべき。  
 ○流域の治水能力を高めるべき。  
 ○河川の立体的利用などによる治水源や支川との流量調節で洪水を軽減しないか。

■下流域  
 ○洪水・水害が不安。対策を急いで、防止すべき。

**凡例**

- 現況河道
  - 遊特事業の低水路河岸ライン
  - 堤防完成区間
  - 堤防高さ不足区間
  - 堤防断面不足区間
  - 堤防高さ・堤防断面不足区間
  - 未施工区間
- 河口の状況
  - 干潟
  - 磯家
- 整備計画河道の整備内容
  - 河槽の確保
    - 河道掘削箇所
    - 伐採される樹木
    - 橋梁等の改善等
- 住民意見のあった箇所

土城川・庄内川河川整備計画平面図 2  
 0.0k~15.0k  
 0 500m 1k  
 S=1:20,000

○整備目標

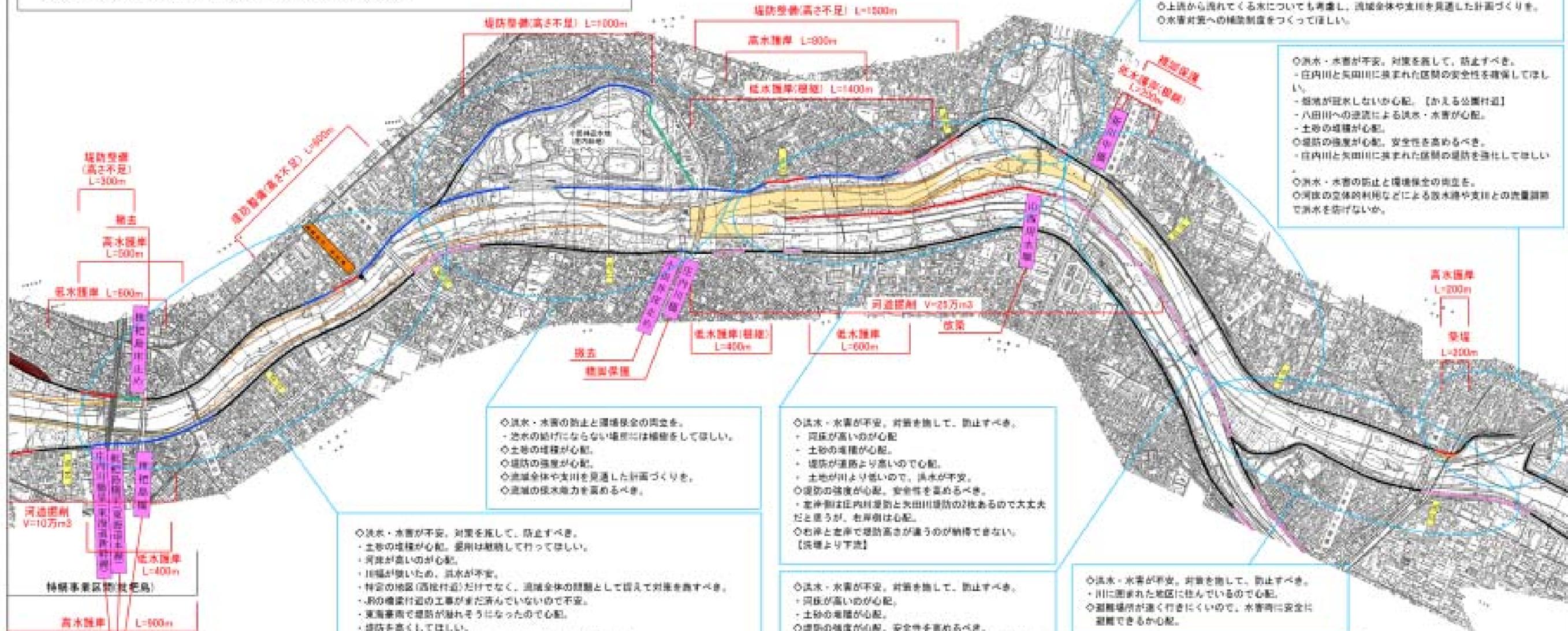
- 戦後最大流量となったH12.9東海豪雨、H元.9洪水と同規模の洪水を計画水位以下で安全に流下させる。
- 河川整備の目標流量を上回る洪水及び整備途上段階での施設能力以上の洪水が発生した場合においても、被害をできるだけ軽減させる。

※質的整備

堤防詳細点検結果をふまえて必要な質的整備を行う。

○流域からの流出で新川が洪水にならないように。  
 ・新川の閉鎖も考慮すべき。  
 ・堤防を閉めきってほしい。  
 ・洪水は不安だが、堤防は閉めきらないでほしい。  
 ・堤防を築上げし、かつ、新川を創えらるる川にするべき。  
 ・堤防がなくとも各々の河川で処理できるようにするべき。  
 ・ポンプを上手く使って対策できないか。  
 ・工事を早急にしてほしい。  
 ○洪水・水害の防止と環境保全の両立を。  
 ○流域の治水能力を高めるべき。  
 ・浸透性の高い舗装にするなど、流域全体での対策が必要。  
 ・開発と貯留池のバランスがとれていないのが心配。  
 ○水害時に安全に避難できるか心配。流域に水防拠点を整備してほしい。  
 ○水はけが悪くて困る。  
 ○上流から流れてくる水についても考慮し、流域全体や支川を見通した計画づくりを。  
 ○水害対策への補助制度をつくってほしい。

○洪水・水害が不安。対策を講じて、防止すべき。  
 ・区内川と矢野川に挟まれた区間の安全性を確保してほしい。  
 ・盤地が浸水しないか心配。【かえる公園付近】  
 ・八田川への逆流による洪水・水害が心配。  
 ・土砂の堆積が心配。  
 ○堤防の強度が心配。安全性を高めるべき。  
 ・区内川と矢野川に挟まれた区間の堤防を強化してほしい。  
 ○洪水・水害の防止と環境保全の両立を。  
 ○河床の立体的利用などによる放水路や支川の流量調節で洪水を下げないか。



○洪水・水害の防止と環境保全の両立を。  
 ・治水の妨げにならない場合には植樹をしてほしい。  
 ○土砂の堆積が心配。  
 ○堤防の強度が心配。  
 ○流域全体や支川を見通した計画づくりを。  
 ○流域の治水能力を高めるべき。

○洪水・水害が不安。対策を講じて、防止すべき。  
 ・同様に高いのが心配。  
 ・土砂の堆積が心配。  
 ・堤防が道路より高いので心配。  
 ・土地が川より低いので、洪水が不安。  
 ○堤防の強度が心配。安全性を高めるべき。  
 ・左岸側は区内川堤防と矢野川堤防の2枚あるので大丈夫と思うが、右岸側は心配。  
 ○右岸と左岸で堤防高さが違うのが納得できない。  
 【堤防より下流】

○洪水・水害が不安。対策を講じて、防止すべき。  
 ・川に囲まれた地区に住んでいるので心配。  
 ○避難場所が遠く行きにくいので、水害時に安全に避難できるか心配。

○洪水・水害が不安。対策を講じて、防止すべき。  
 ・土砂の堆積が心配。堤防は継続して行ってほしい。  
 ・河床が高いのが心配。  
 ・10幅が狭いため、洪水が不安。  
 ・特定の地区(西松付近)だけでなく、流域全体の課題として捉えて対策を講ずべき。  
 ・沿の橋脚付近の工事がまだ済んでいないので不安。  
 ・東海豪雨で堤防が崩れそうになったので心配。  
 ・堤防を高くしてほしい。  
 ・堤防高が不足しているため、洪水の原因にならないか不安。  
 ○堤防の強度が心配。安全性を高めるべき。  
 ・堤防の上流から水が噴き出すのが心配。  
 ・地震時の堤防や堤内地の安全性が心配。軟弱な地盤だということを考慮して対策を行ってほしい。  
 ・老朽橋脚付近の堤防は大雨のたびに心配になる。  
 ・自然の植生で堤防がえぐられてしまう。  
 ・堤防の木が台風などで倒れられて、堤防に影響を及ぼさないか心配。  
 ○右岸と左岸で堤防高さが違うのが納得できない。  
 ○右岸側が幅狭になるのは昔からのことなので、仕方がないと思う。【小田川】  
 ○流域の治水能力を高めるべき。  
 ○人工的ではなく、自然を生かした工法にするなどの工夫してほしい。  
 ○洪水・水害の防止と環境保全の両立を。  
 ○治水を一層に考えるべき。  
 ○水害時に安全に避難できるか心配。  
 ○河床の立体的利用などによる放水路や支川の流量調節で洪水を下げないか。

○洪水・水害が不安。対策を講じて、防止すべき。  
 ・同様に高いのが心配。  
 ・土砂の堆積が心配。  
 ○堤防の強度が心配。安全性を高めるべき。  
 ○以前の洪水はけが悪かったが、工事によって良くなった。  
 ○治水対策が最も重要だが、環境保全についても考えてほしい。  
 ○住民の一人一人が治水対策への意識を持つことが重要

■流域全体  
 ○流域全体や支川を見通した計画づくりを。  
 ○洪水・水害が不安。対策を講じて防止すべき。  
 ○流域の治水能力を高めるべき。  
 ○河床の立体的利用などによる放水路や支川の流量調節で洪水を下げないか。

■下流域  
 ○洪水・水害が不安。対策を講じて、防止すべき。

凡例

■現況河道  
 ● 放排事業の低水路河岸ライン  
 ● 堤防完成区間  
 ● 堤防高さ不足区間  
 ● 堤防断面不足区間  
 ● 堤防高・堤防断面不足区間  
 ● 未施工区間

■整備計画河道の整備内容  
 ● 河床掘削箇所  
 ● 伐倒される樹木  
 ● 橋造物 橋造物の改築等

住民主意のあった箇所

土岐川-区内川河川整備計画平面図 3

15.0%~22.0%

S=1:20,000

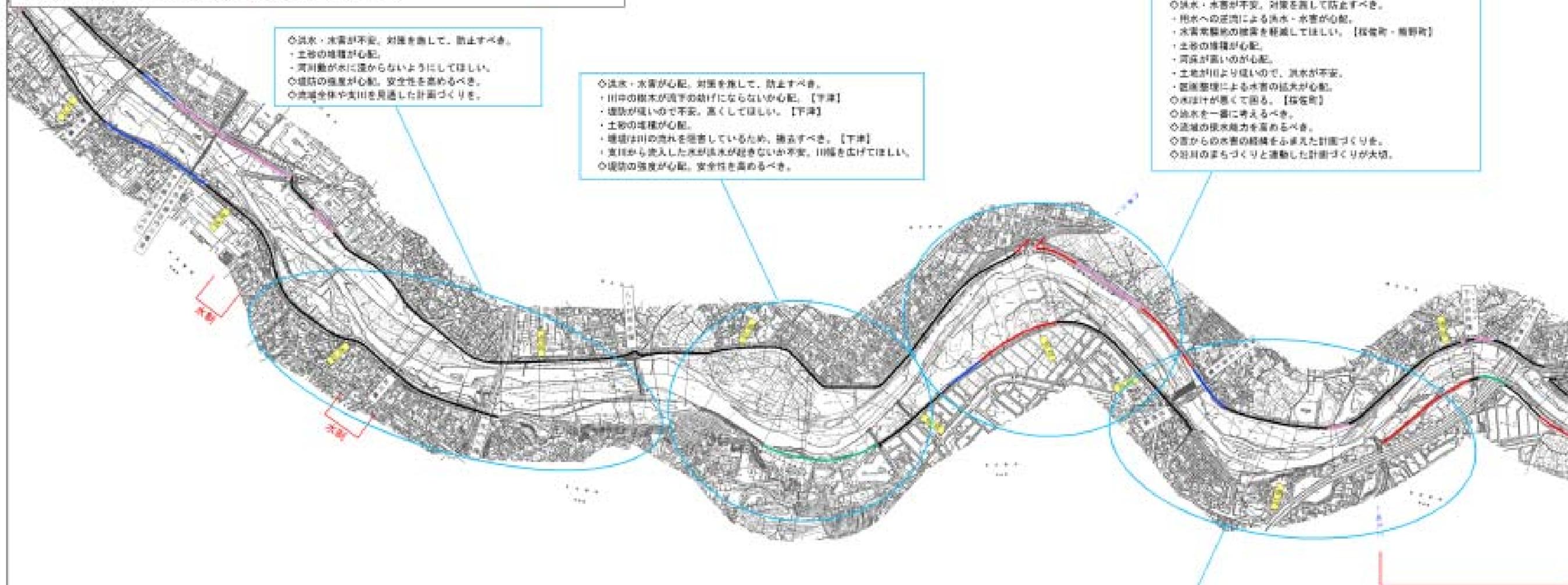
0m 50m 100m

○整備目標

1. 戦後最大流量となったH12.9東海豪雨、H元.9洪水と同規模の洪水を計画水位以下で安全に流下させる。
2. 河川整備の目標流量を上回る洪水及び整備途上段階での施設能力以上の洪水が発生した場合においても、被害をできるだけ軽減させる。

※質的整備

堤防詳細点検結果をふまえて必要な質的整備を行う。



○洪水・水害が不安。対策を施して、防止すべき。  
 ・土砂の堆積が心配。  
 ・河川敷が水に浸からないようにしてほしい。  
 ○堤防の強度が心配。安全性を高めるべき。  
 ○流域全体や支川を見通した計画づくりを。

○洪水・水害が心配。対策を施して、防止すべき。  
 ・田中の樹木が流下の妨げにならないが心配。【下津】  
 ・堤防が低いので不安。高くしてほしい。【下津】  
 ・土砂の堆積が心配。  
 ・埋埋は川の流れを障害しているため、除去すべき。【下津】  
 ・支川から流入した水が洪水が起きないか不安。川幅を広げてほしい。  
 ○堤防の強度が心配。安全性を高めるべき。

○堤防の強度が心配。安全性を高めるべき。  
 ・地震時の堤防や埋地の液状化が心配。  
 ○洪水・水害が不安。対策を施して防止すべき。  
 ・排水への逆流による洪水・水害が心配。  
 ・水害常態時の被害を軽減してほしい。【桜宮町・熊野町】  
 ・土砂の堆積が心配。  
 ・河床が深いのが心配。  
 ・土地が旧より低いので、洪水が不安。  
 ・区画整理による水害の拡大が心配。  
 ○水はけが悪くて困る。【桜宮町】  
 ○治水を一番に考えるべき。  
 ○流域の治水能力を高めるべき。  
 ○昔からの水害の経緯をふまえた計画づくりを。  
 ○翌月のまちづくりと連動した計画づくりが大切。

○土砂が堆積しており、洪水・水害が不安。対策を施して、防止すべき。

土地区画整理事業対象地

凡例

■ 現況河川	■ 整備計画河川の整備内容
● 遊歩道の従水路河岸ライン	■ 河床の確保
— 堤防完成区間	■ 河床掘削箇所
— 堤防高不足区間	■ 伐採される樹木
— 堤防断面不足区間	■ 構造物の改良等
— 堤防高・堤防断面不足区間	
— 未施工区間	

■ 流域全体  
 ○流域全体や支川を見通した計画づくりを。  
 ○洪水・水害が不安。対策を施して防止すべき。  
 ○流域の治水能力を高めるべき。  
 ○河川の土地利用などによる放水路や支川との流量調整で洪水を妨げないか。

■ 中流域  
 ○流域の治水能力を高めるべき。  
 ○治水を一番に考えるべき。

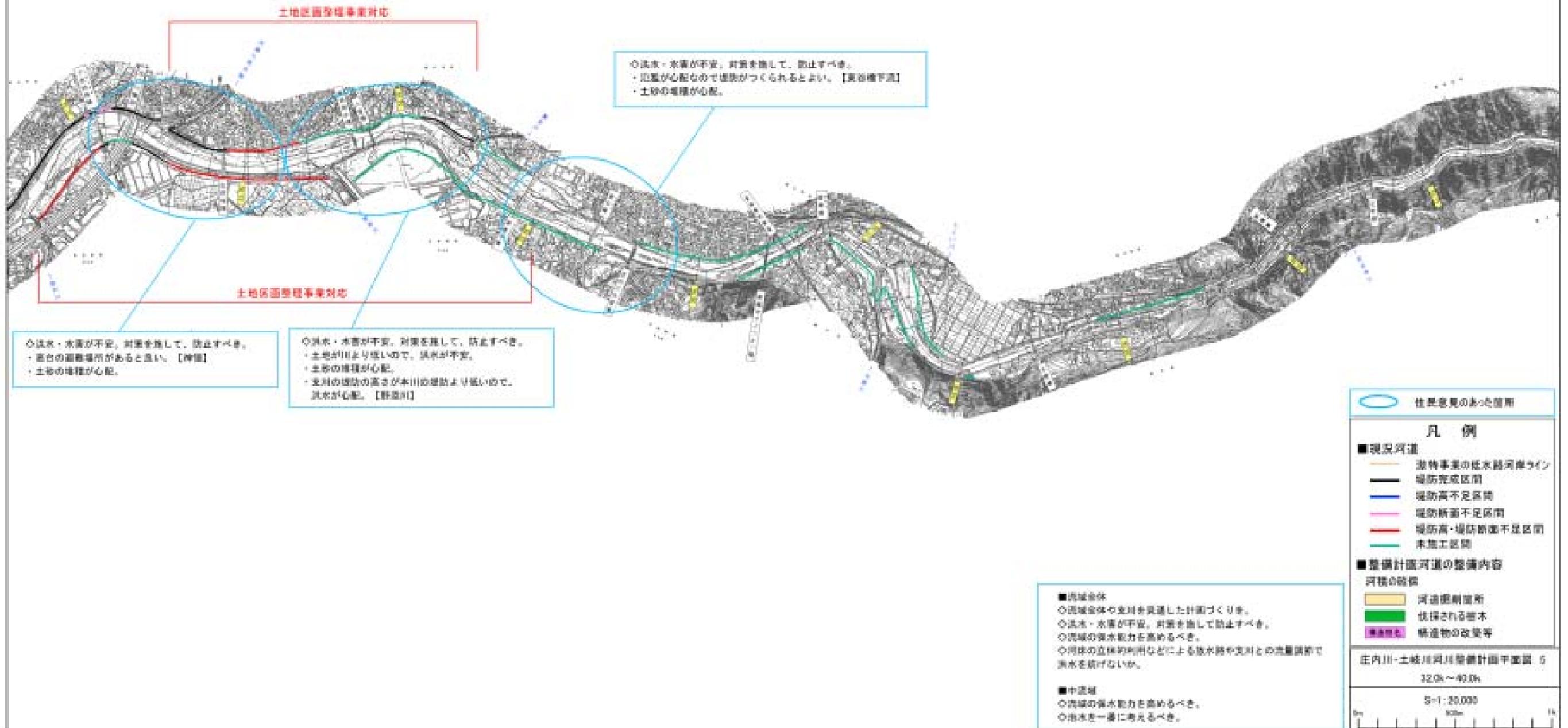


○整備目標

1. 戦後最大流量となったH12.9東海豪雨、H元.9洪水と同規模の洪水を計画水位以下で安全に流下させる。
2. 河川整備の目標流量を上回る洪水及び整備途上段階での施設能力以上の洪水が発生した場合においても、被害をできるだけ軽減させる。

※質的整備

堤防詳細点検結果をふまえて必要な質的整備を行う。



○整備目標

1. 戦後最大流量となったH12.9東海豪雨、H元.9洪水と同規模の洪水を計画水位以下で安全に流下させる。
2. 河川整備の目標流量を上回る洪水及び整備途上段階での施設能力以上の洪水が発生した場合においても、被害をできるだけ軽減させる。

※質的整備

堤防詳細点検結果をふまえて必要な質的整備を行う。

○洪水・水害が不安、対策を講じて、防止すべき。  
○山を削ったりすることや谷幅の埋塞などが、川の水位を一気に上げている原因と思われるので、対策を講ずべき。  
○堤防や橋脚の耐震性が不安。

○洪水・水害が不安、対策を講じて、防止すべき。  
- 扇状地の手前は扇状地に洪水が溜まる。対策を講じて、防止すべき。  
- 土砂が堆積し、河床が高くなってきているため、洪水が心配。  
- 支川への運河による洪水・水害が心配。  
- 川より土地が低いところがあり、浸水が不安。  
○右岸と左岸で堤防高が違うのが納得できない。橋高をなくすべきではないか。  
○堤防の強度が心配。安全性を高めるべき。

○洪水・水害が不安、対策を講じて、防止すべき。  
○右岸と左岸で堤防高が違うのが納得できない。橋高をなくすべきではないか。



■流域全体  
○流域全体や支川を見通した計画づくりを。  
○洪水・水害が不安、対策を講じて防止すべき。  
○流域の治水能力を高めるべき。  
○河床の立体的利用などによる放水路や支川との流量調整で洪水を妨げない。

■上流域  
○流域の治水能力を高めるべき。  
○中上流域から下流域への流出量を減らさるべき。

凡例

■現況河道

- 激熱事業の治水路河岸ライン
- 堤防完成区間
- 堤防高不足区間
- 堤防断面不足区間
- 堤防高・堤防断面不足区間
- 未施工区間

■整備計画河道の整備内容

- 河道掘削箇所
- 伏保される橋本
- 橋脚等の改築等

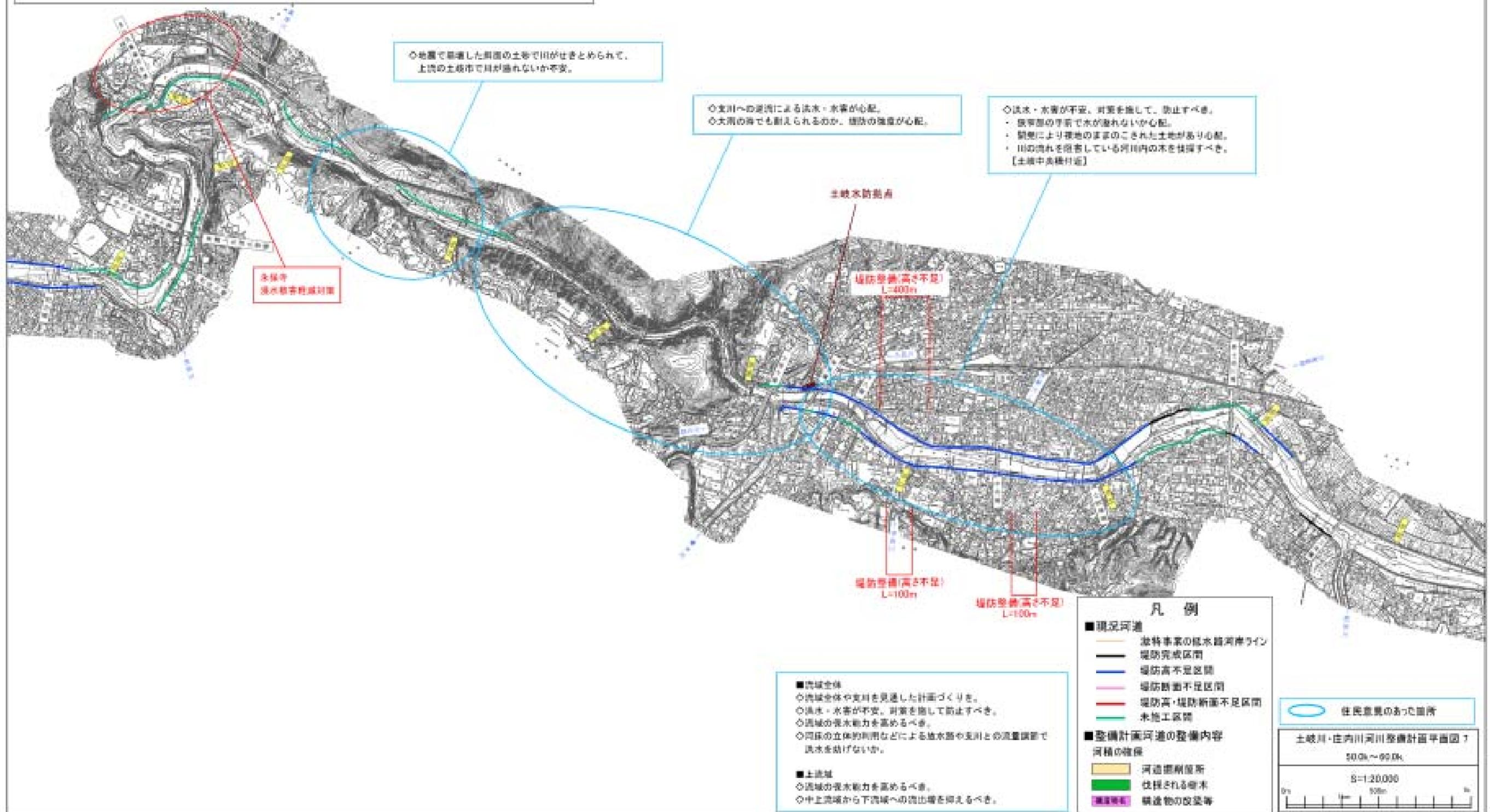


○整備目標

1. 戦後最大流量となったH12.9東海豪雨、H元.9洪水と同規模の洪水を計画水位以下で安全に流下させる。
2. 河川整備の目標流量を上回る洪水及び整備途上段階での施設能力以上の洪水が発生した場合においても、被害をできるだけ軽減させる。

※質的整備

堤防詳細点検結果をふまえて必要な質的整備を行う。

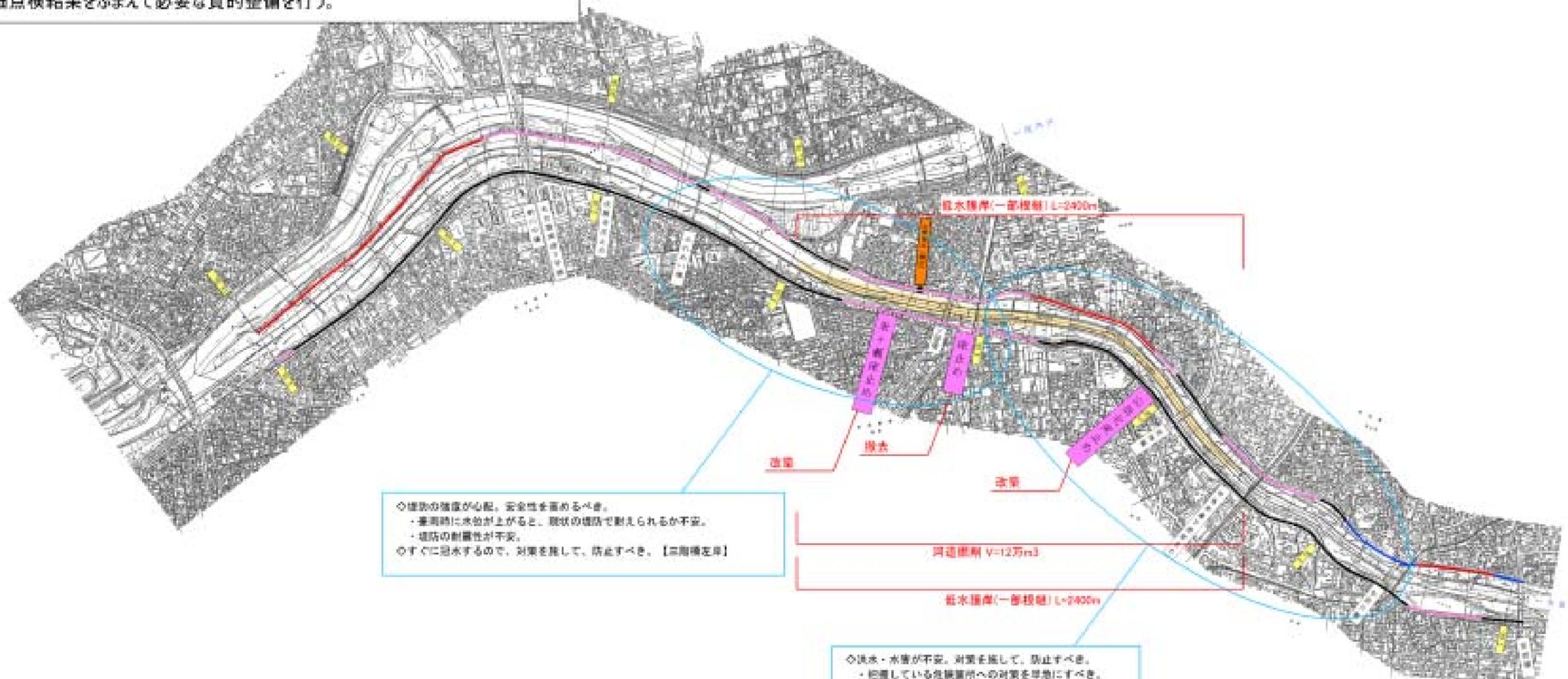


○整備目標

1. 戦後最大流量となったH12.9東海豪雨、H元.9洪水と同規模の洪水を計画水位以下で安全に流下させる。
2. 河川整備の目標流量を上回る洪水及び整備途上段階での施設能力以上の洪水が発生した場合においても、被害をできるだけ軽減させる。

※質的整備

堤防詳細点検結果をふまえて必要な質的整備を行う。



◇堤防の強度が心配。安全性を高めるべき。  
 ・暴雨時に水位が上がると、現状の堤防で耐えられるか不安。  
 ・堤防の耐震性が不安。  
 ◇すぐに止水するので、対策を施して、防止すべき。【高水護岸】

◇洪水・水害が不安。対策を施して、防止すべき。  
 ・相隣している危険箇所への対策を早急にすべき。

■地域全体  
 ◇地域全体や支川を見通した計画づくりを。  
 ◇洪水・水害が不安。対策を施して防止すべき。  
 ◇地域の治水能力を高めるべき。  
 ◇河川の立体利用などによる放水路や支川との流量調節で洪水を妨げないが。  
 ■下流域  
 ◇洪水・水害が不安。対策を施して、防止すべき。

**凡例**

- 現状河道
  - 遊憩専用の低水路河岸ライン
  - 堤防完成区間
  - 堤防高不足区間
  - 堤防断面不足区間
  - 堤防高・堤防断面不足区間
  - 未施工区間
- 整備計画河道の整備内容
  - 河道掘削箇所
  - 伐採される樹木
  - 構造物の改築等

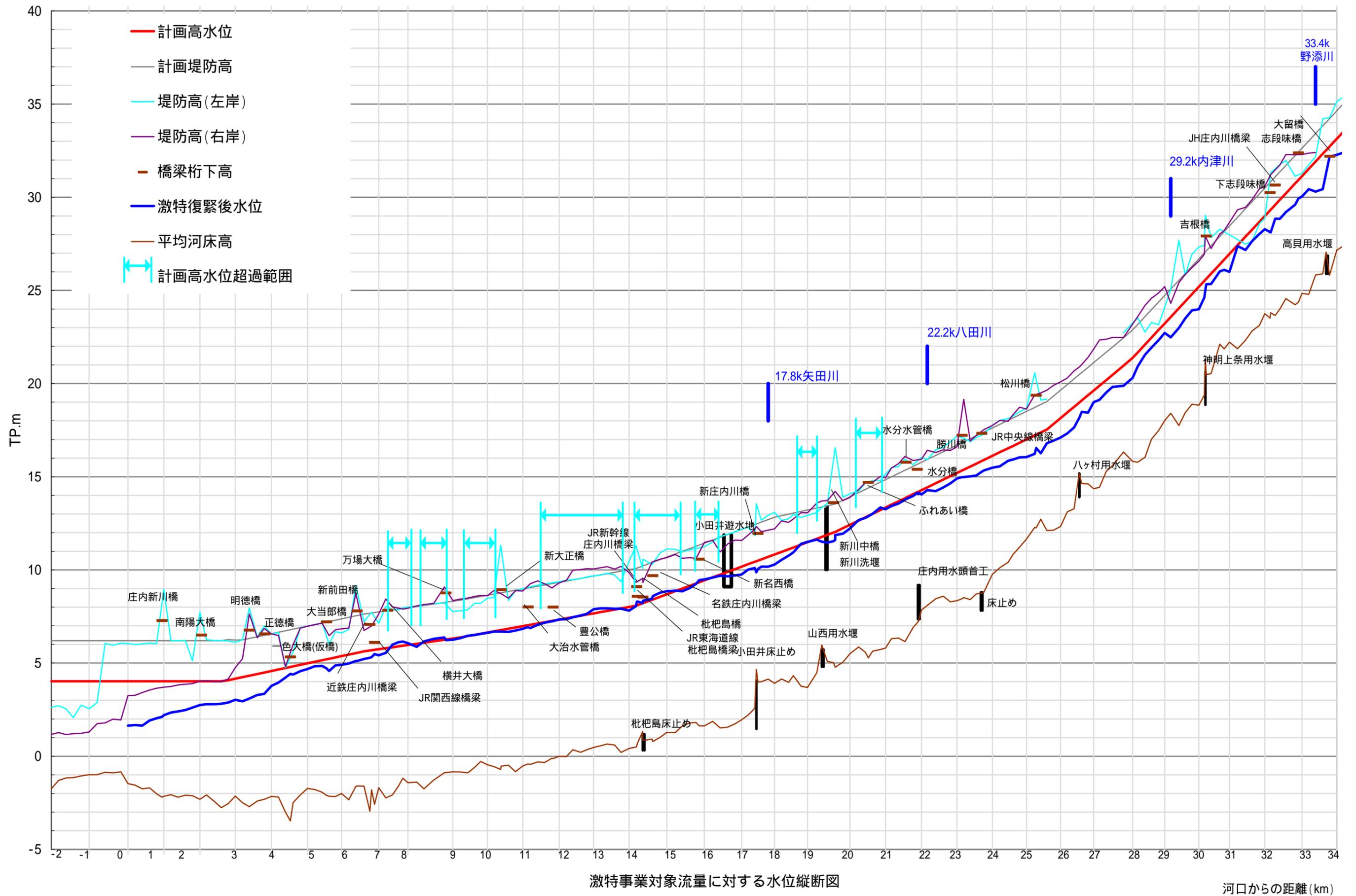
○ 住民意見のあった箇所

矢田川河川整備計画平面図 I  
 0.0km～7.0km  
 S=1/20,000  
 0m 100m 1km

2. 水位縦断図

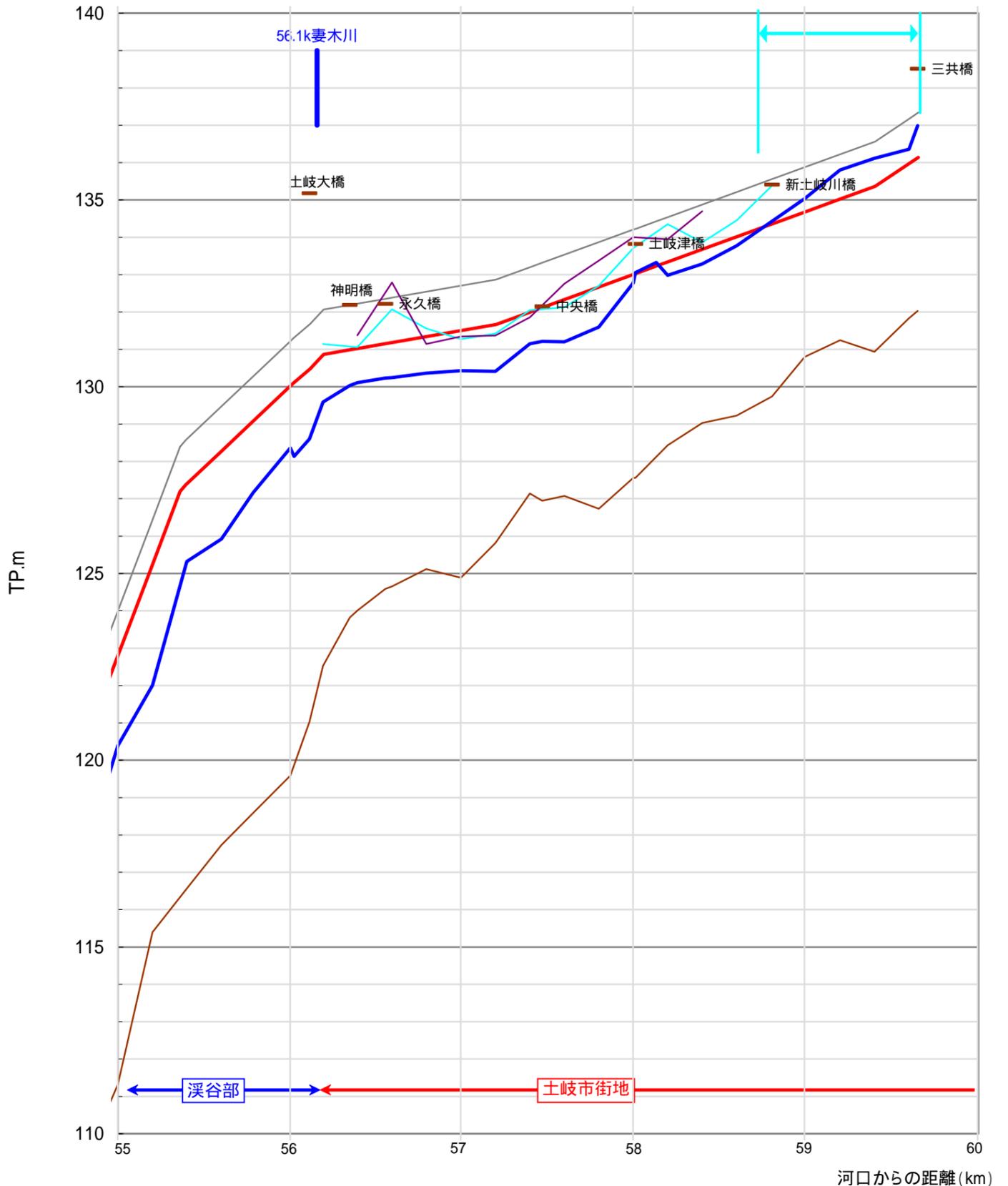
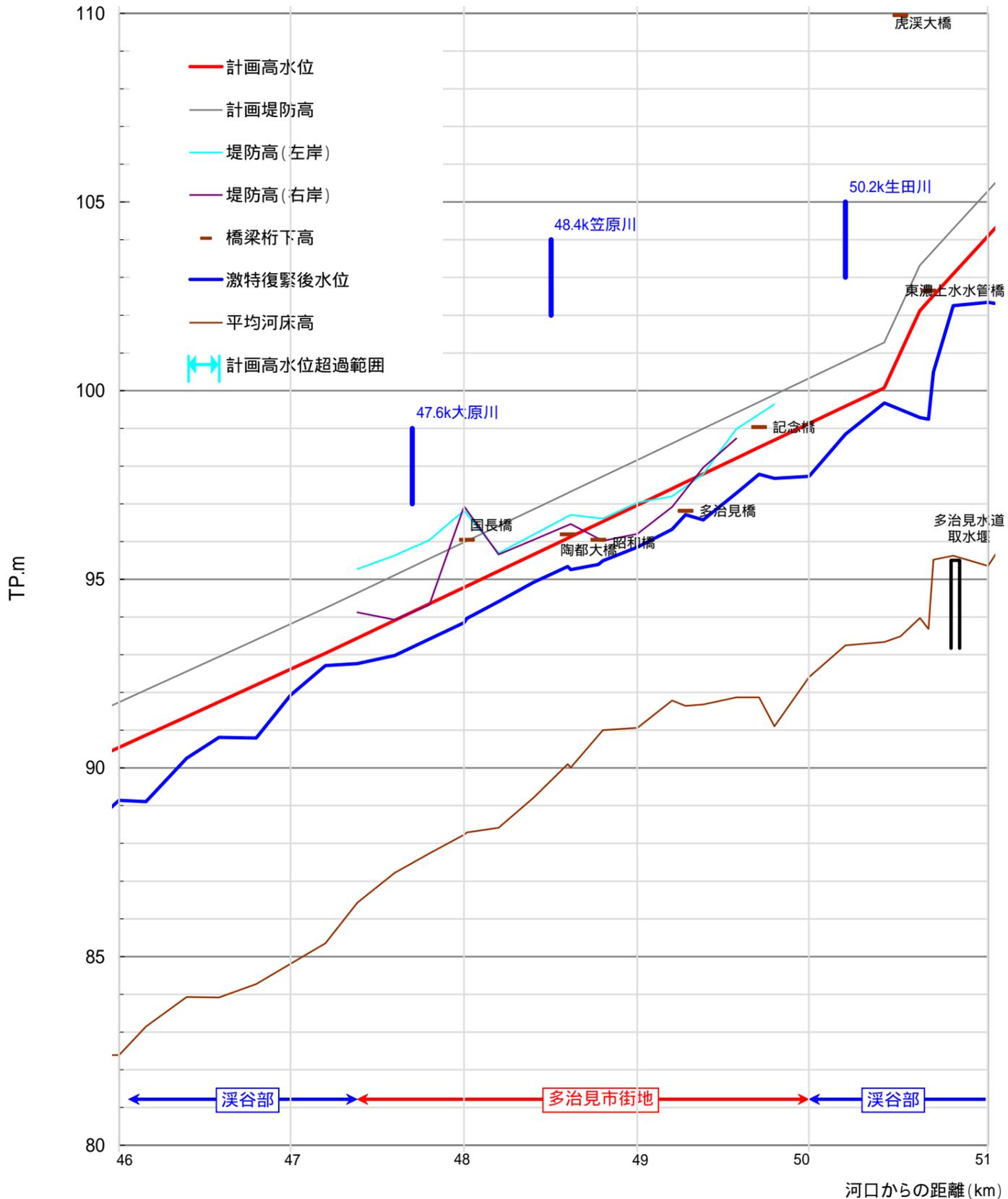
(1) 激特・復緊事業後の水位縦断図

激特事業後の河道状況



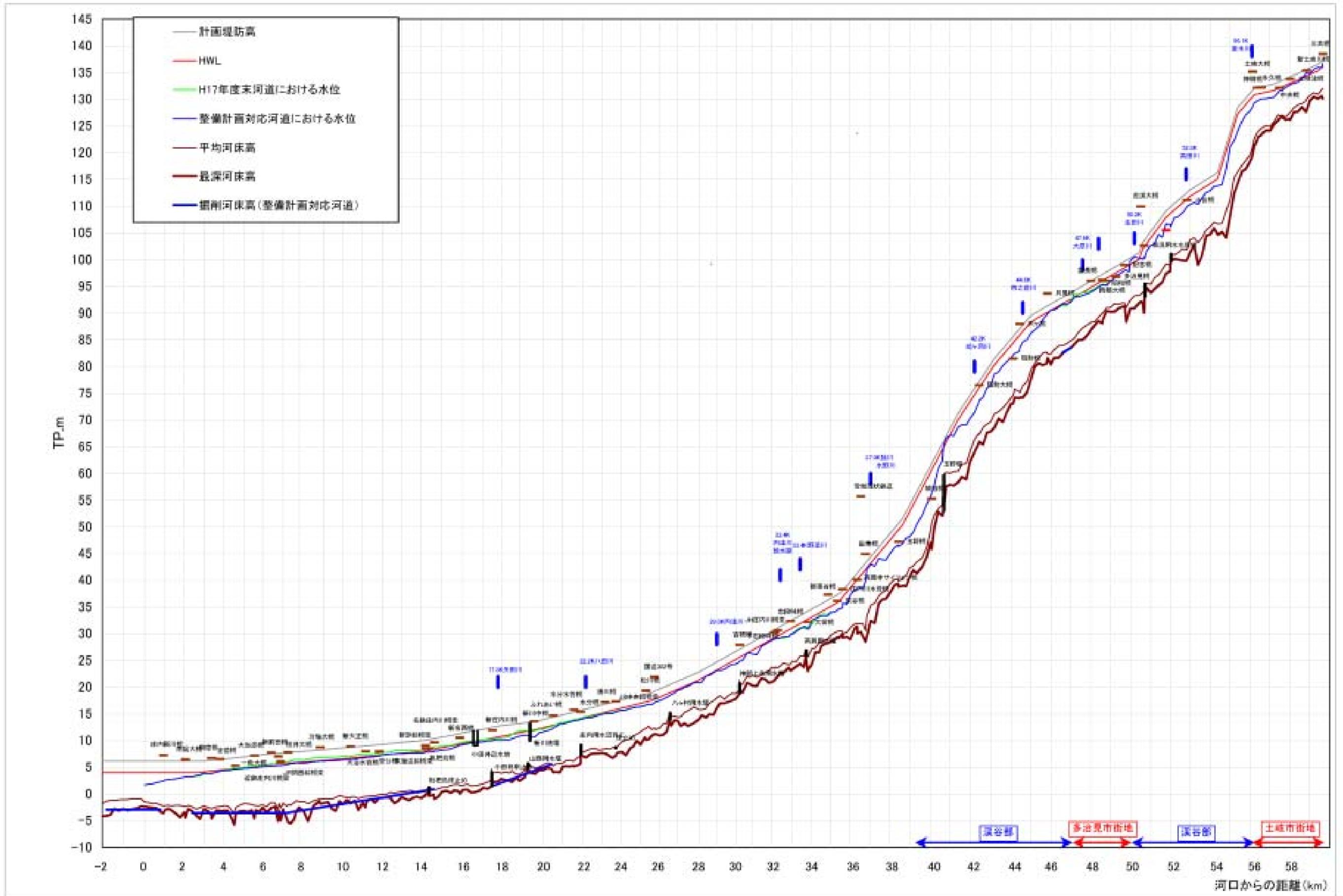
激特事業対象流量に対する水位縦断図

復緊事業後の河道状況



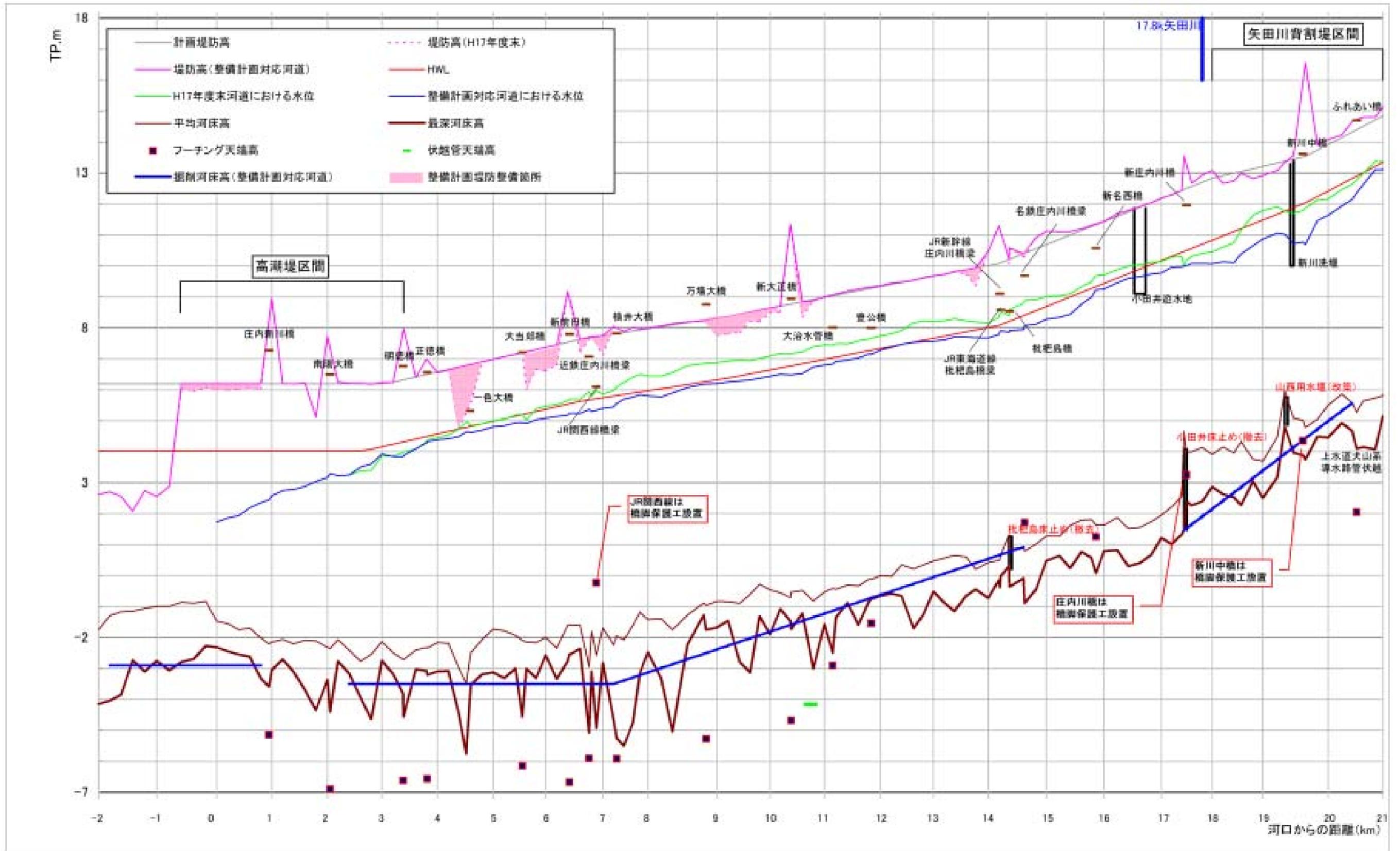
復緊事業対象流量に対する小里川ダム洪水調節後の水位縦断面図

(2) 整備計画(治水)(案)水位縦断図  
河川整備(案)前後の河道状況



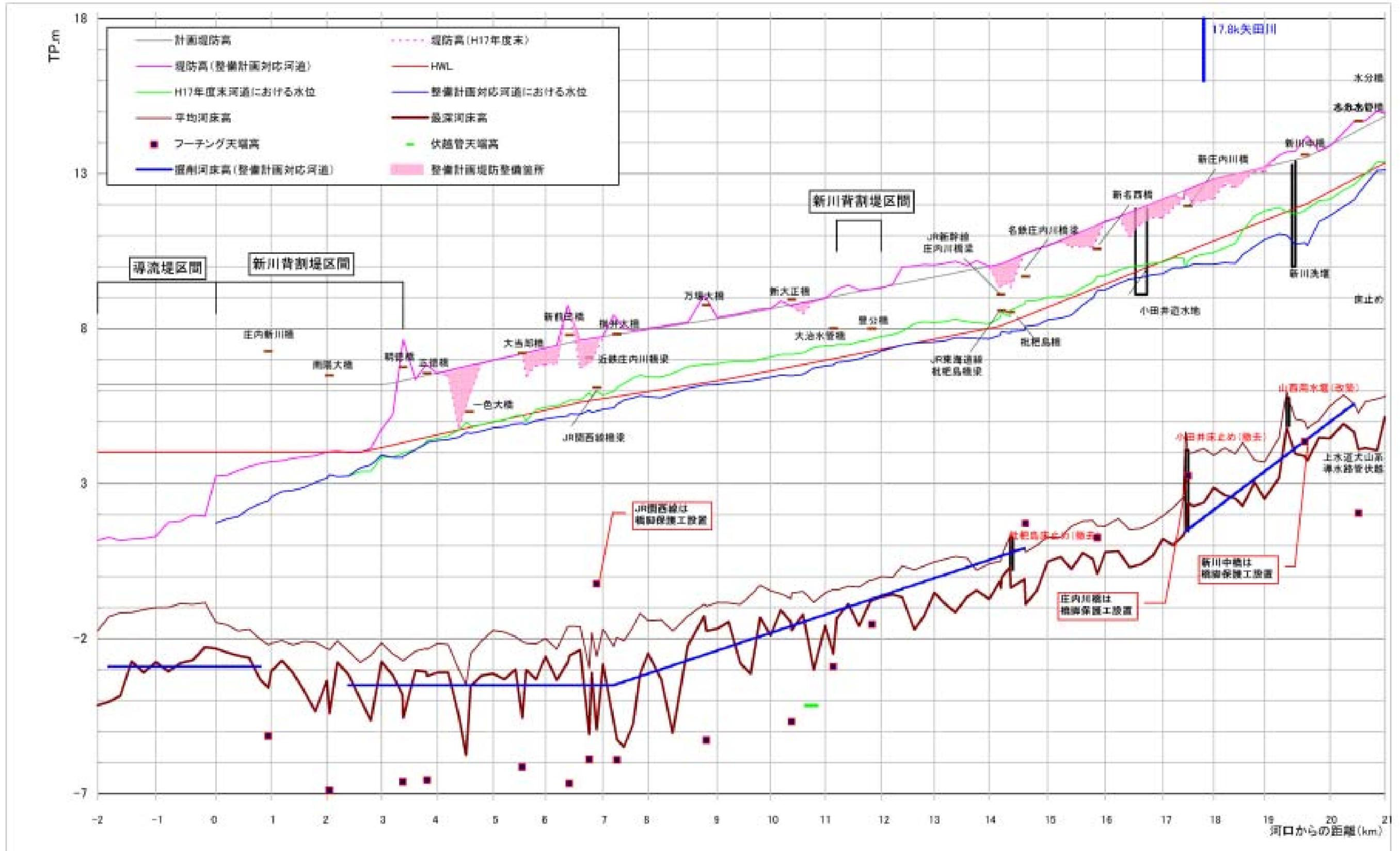
河川整備計画の目標流量(案)に対する水位縦断図(全川)

河川整備（案）前後の河道状況



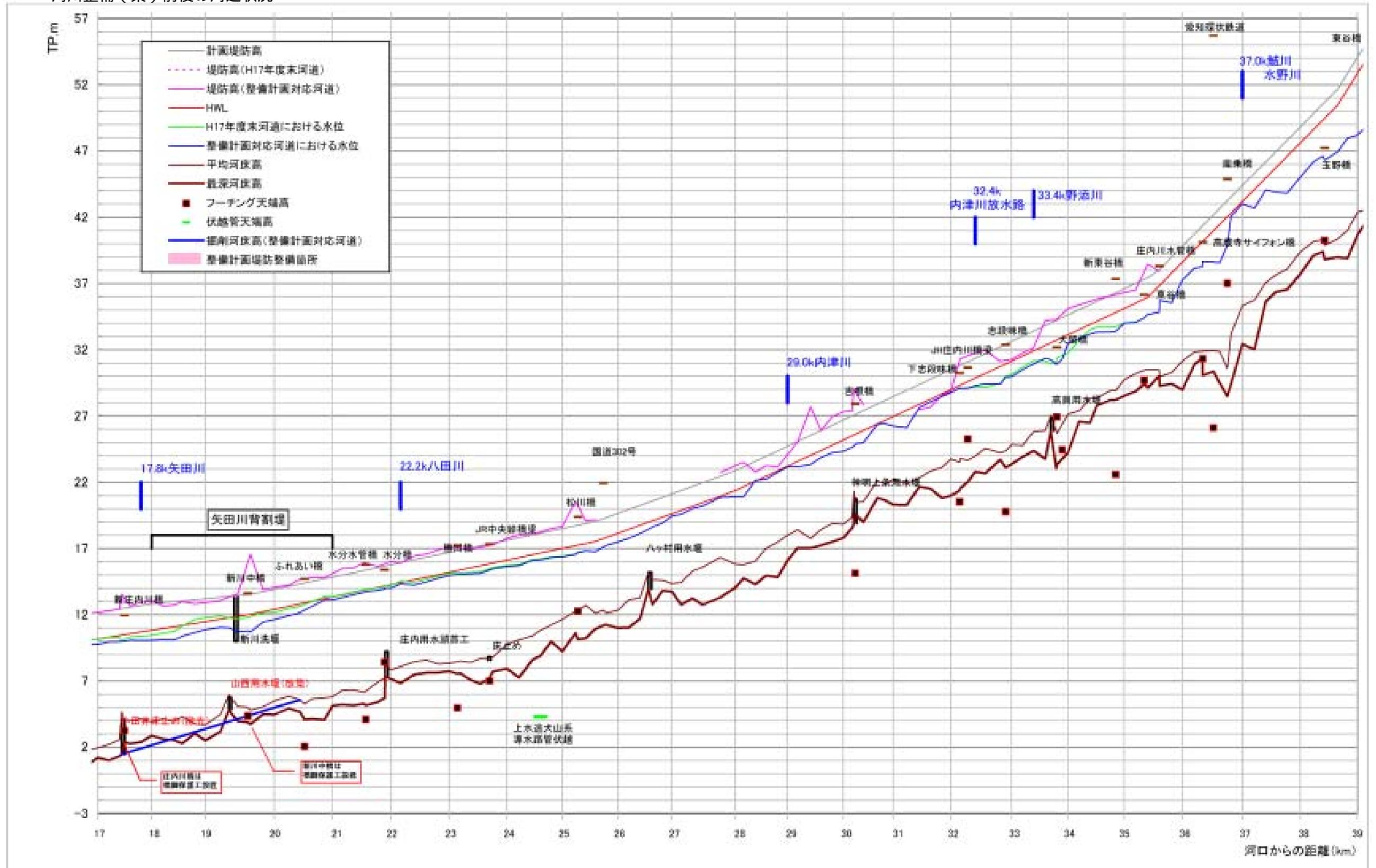
河川整備計画の目標流量（案）に対する水位縦断図（庄内川左岸：-2.0k～21.0k）

河川整備（案）前後の河道状況



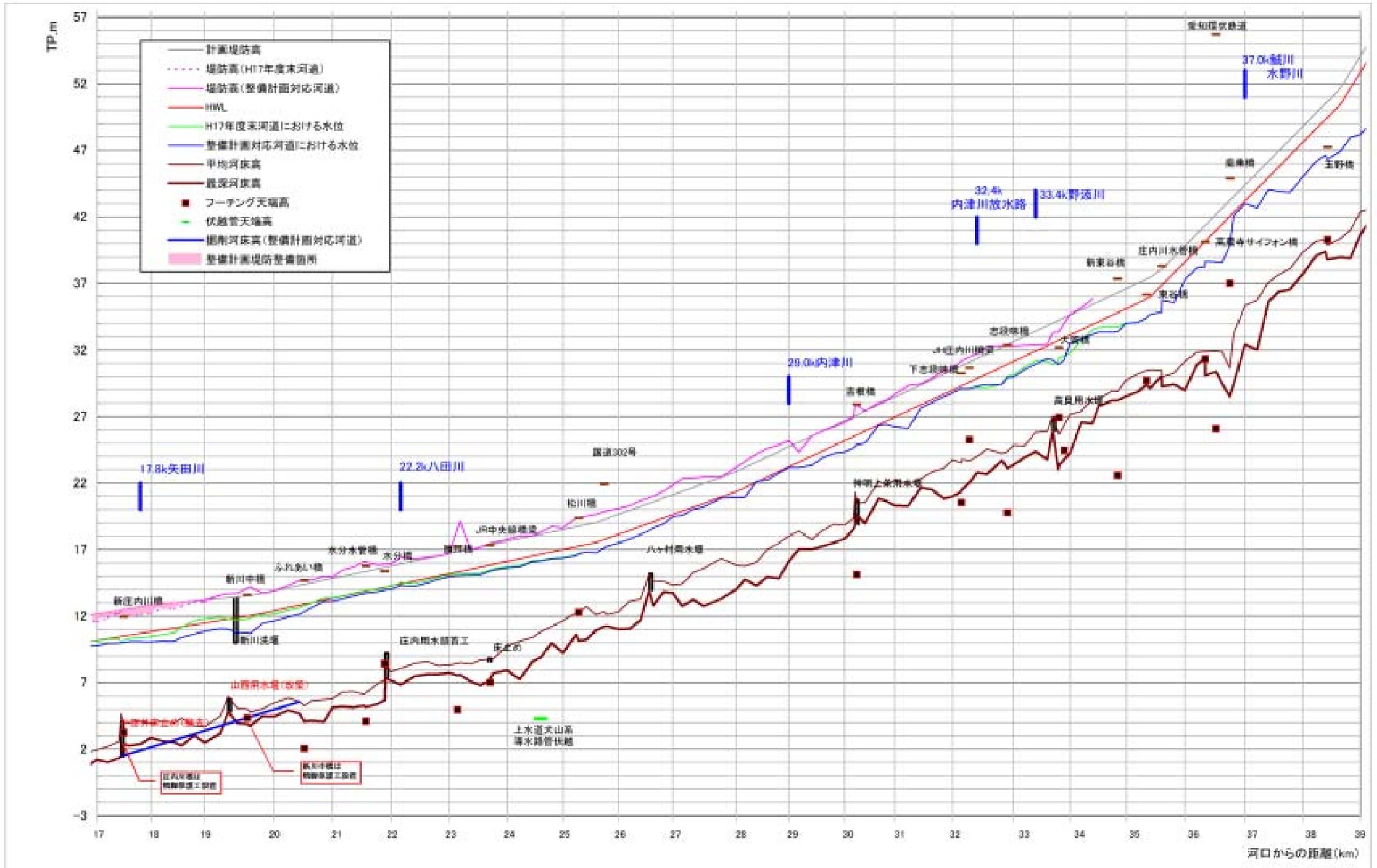
河川整備計画の目標流量（案）に対する水位縦断図（庄内川右岸：-2.0k～21.0k）

河川整備（案）前後の河道状況



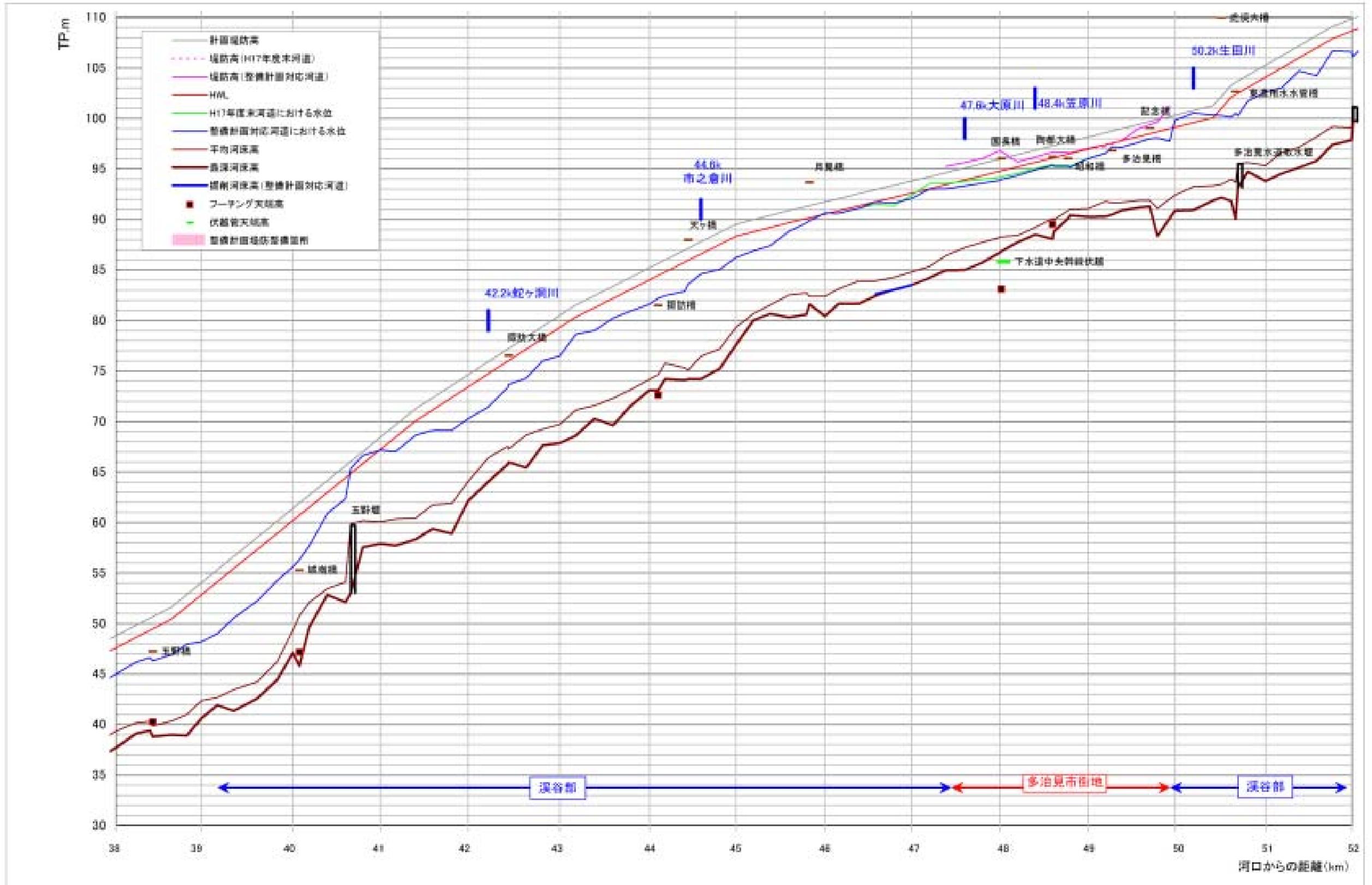
河川整備計画の目標流量（案）に対する水位縦断面図（庄内川左岸：17.0k～39.0k）

河川整備（案）前後の河道状況



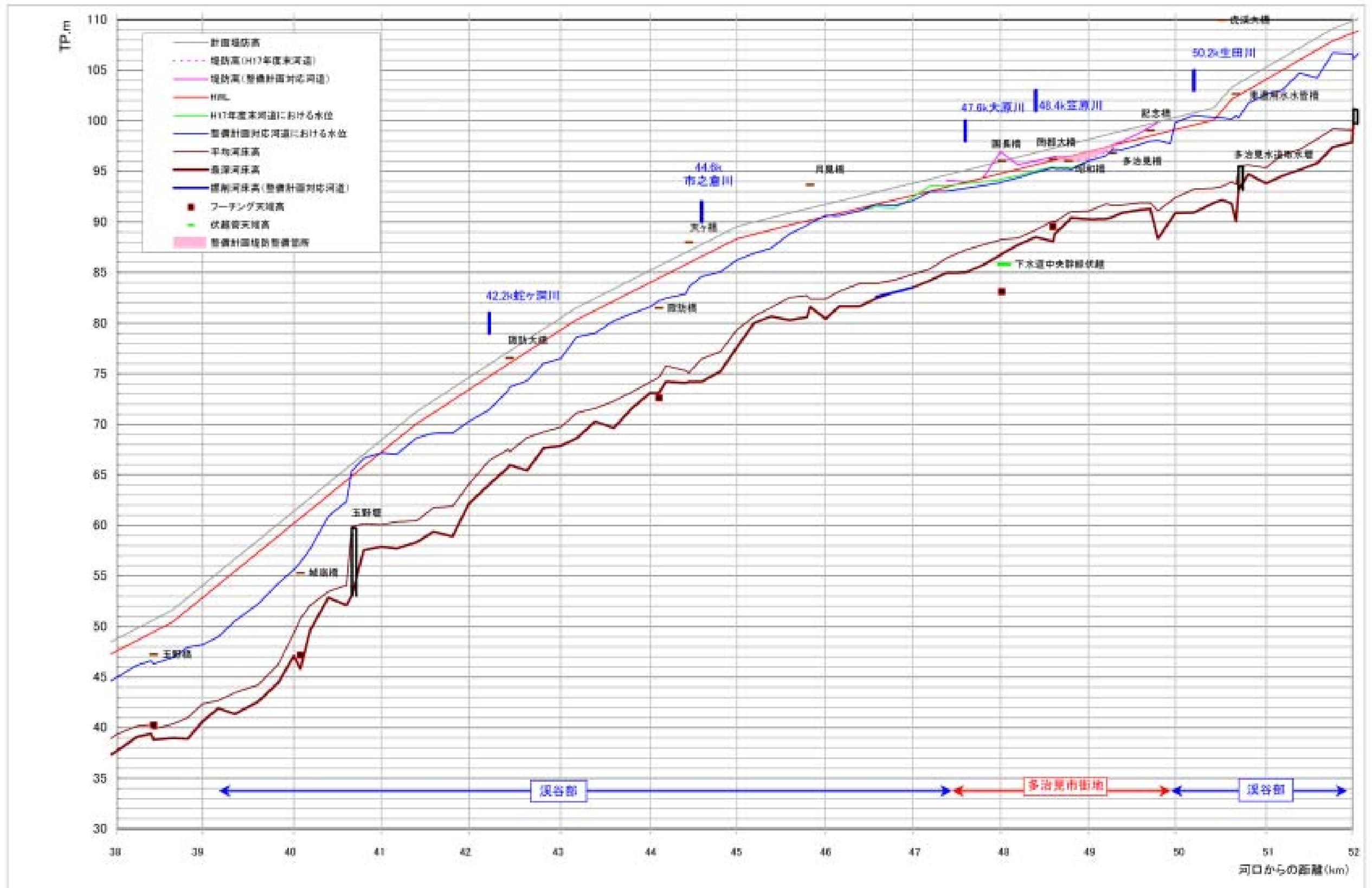
河川整備計画の目標流量（案）に対する水位縦断図（庄内川右岸：17.0k～39.0k）

河川整備（案）前後の河道状況



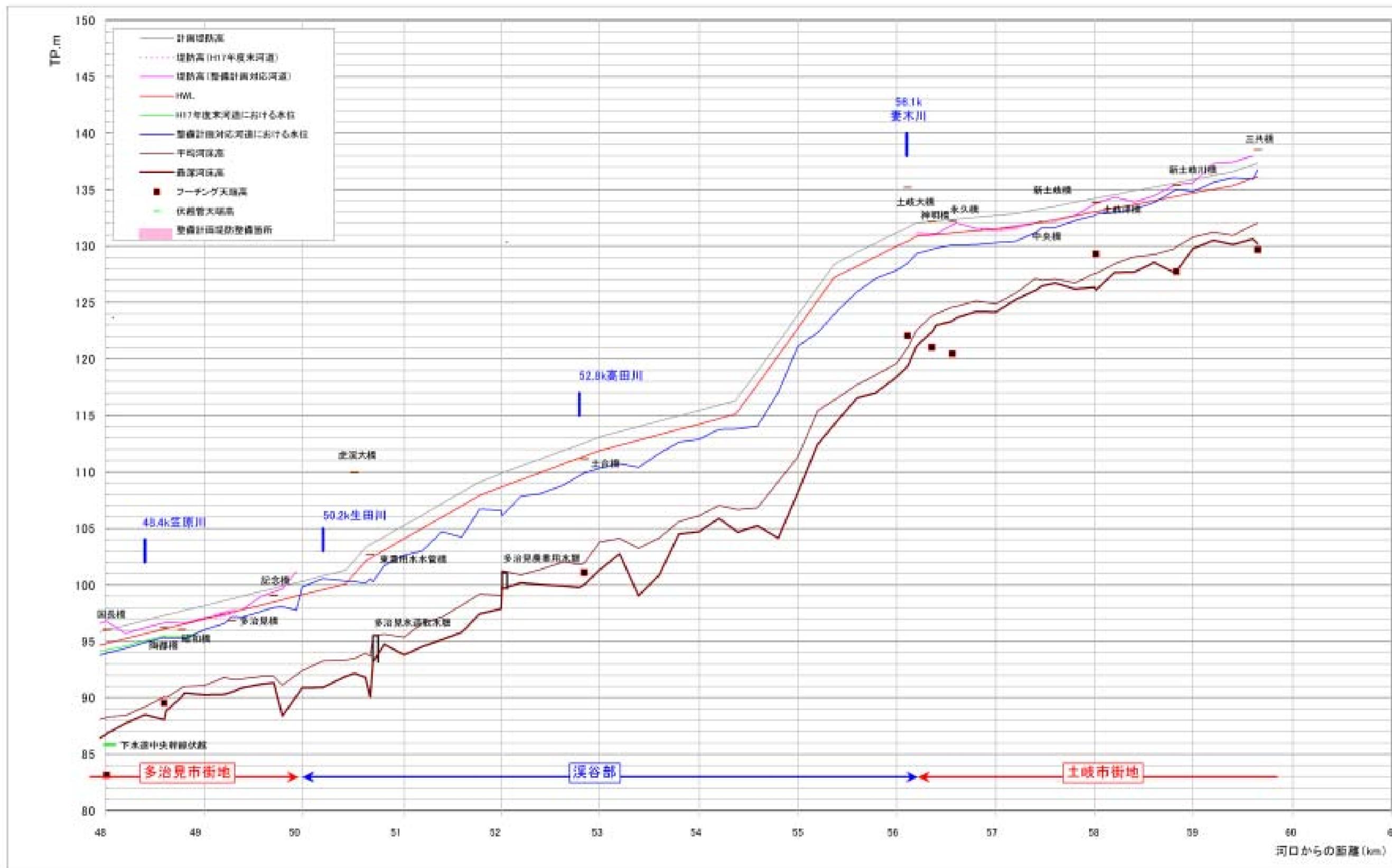
河川整備計画の目標流量（案）に対する水位縦断図（庄内川左岸：38.0k～52.0k）

河川整備（案）前後の河道状況



河川整備計画の目標流量（案）に対する水位縦断図（庄内川右岸：38.0k～52.0k）

河川整備（案）前後の河道状況



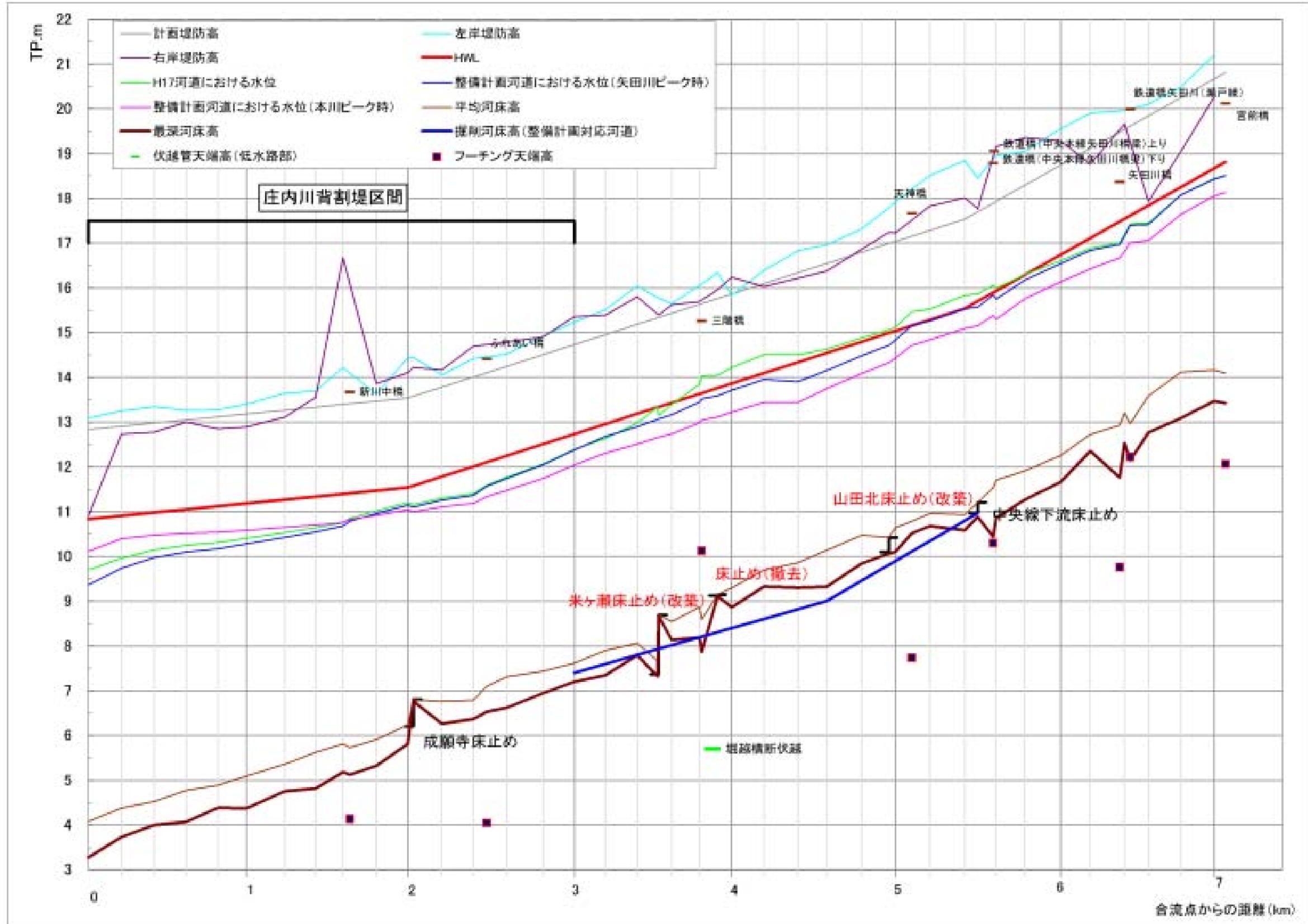
河川整備計画の目標流量（案）に対する水位縦断図（庄内川左岸：48.0k～59.6k）

河川整備（案）前後の河道状況



河川整備計画の目標流量（案）に対する水位縦断図（庄内川右岸：48.0k～59.6k）

河川整備（案）前後の河道状況

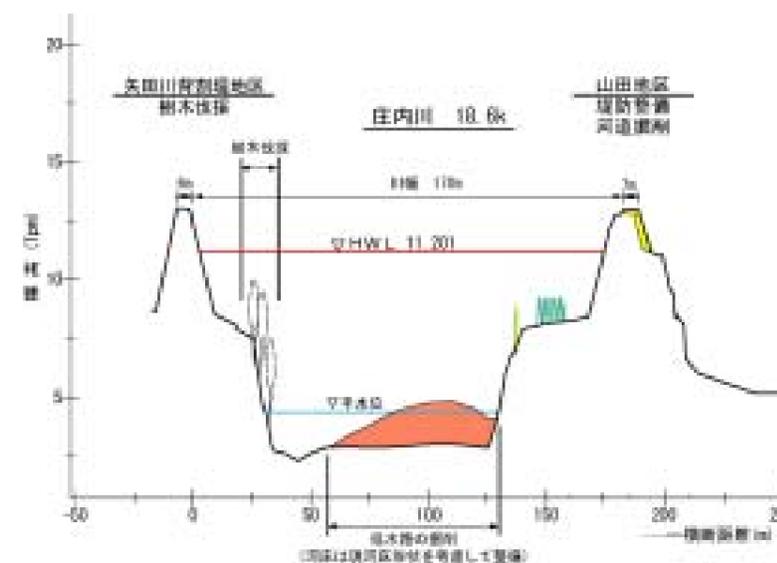
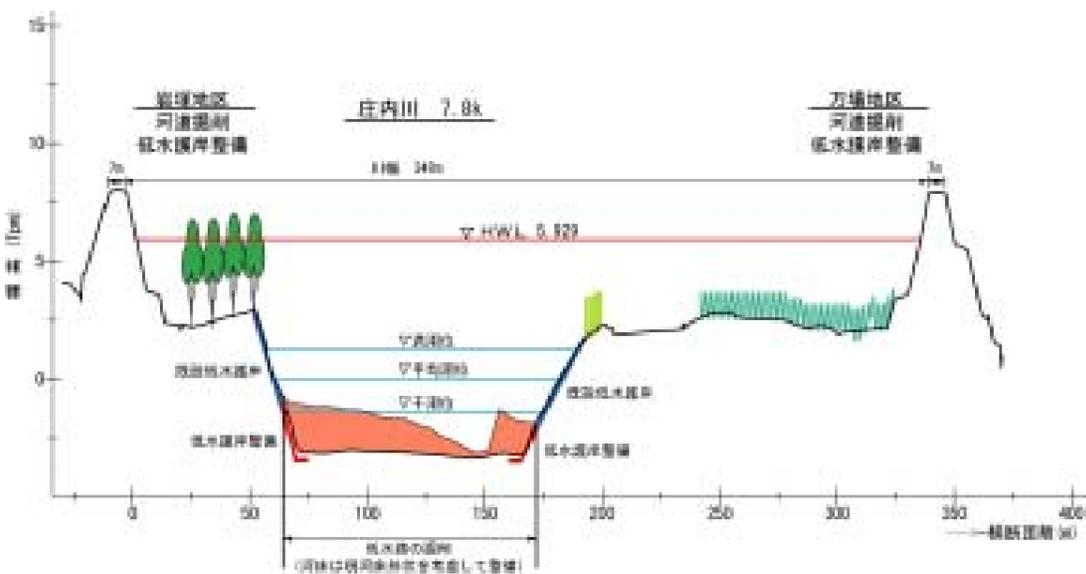
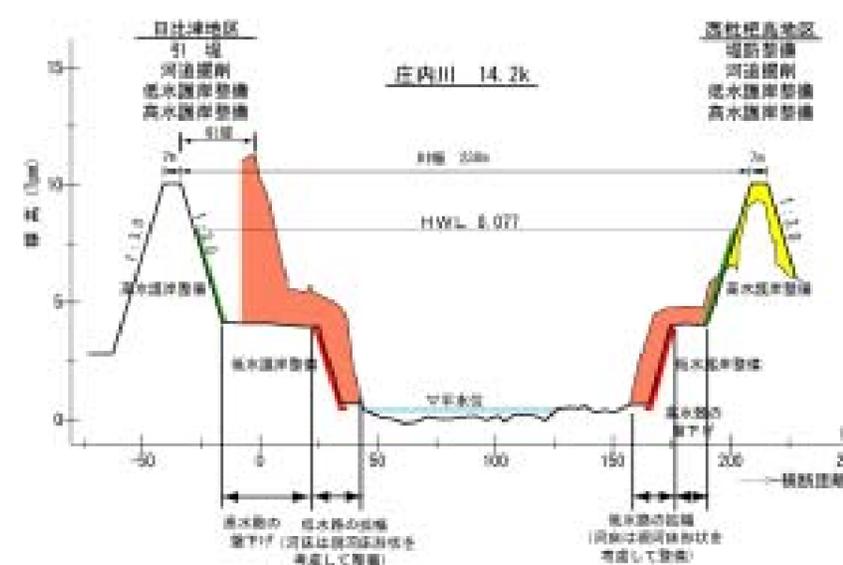
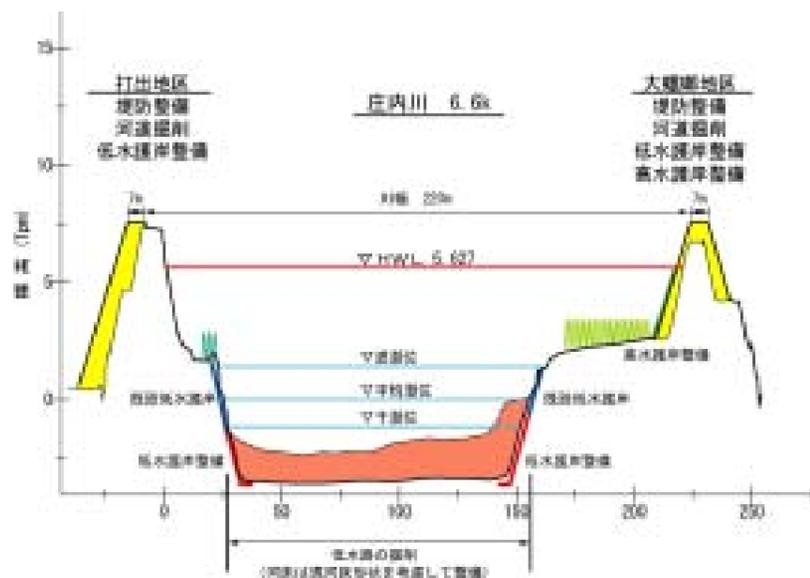
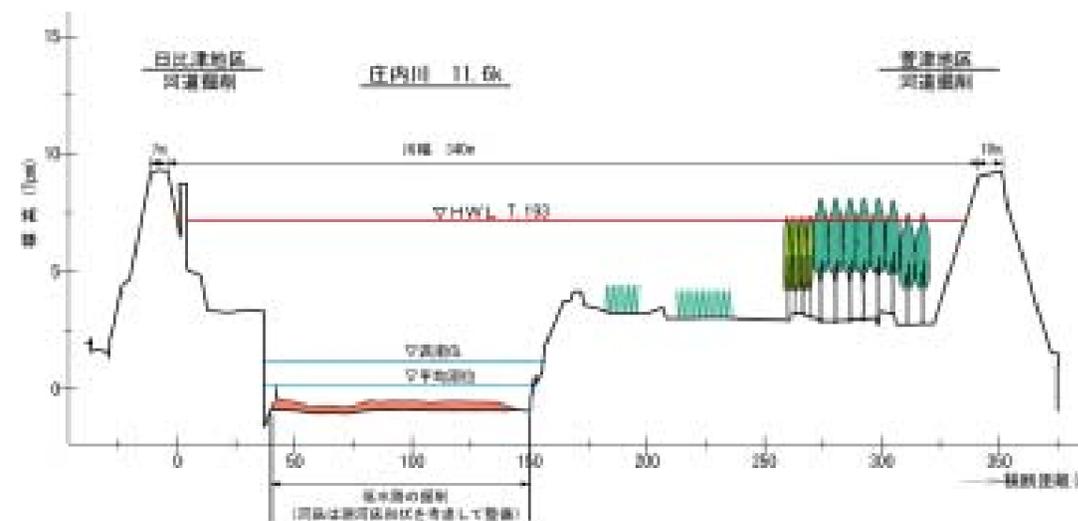
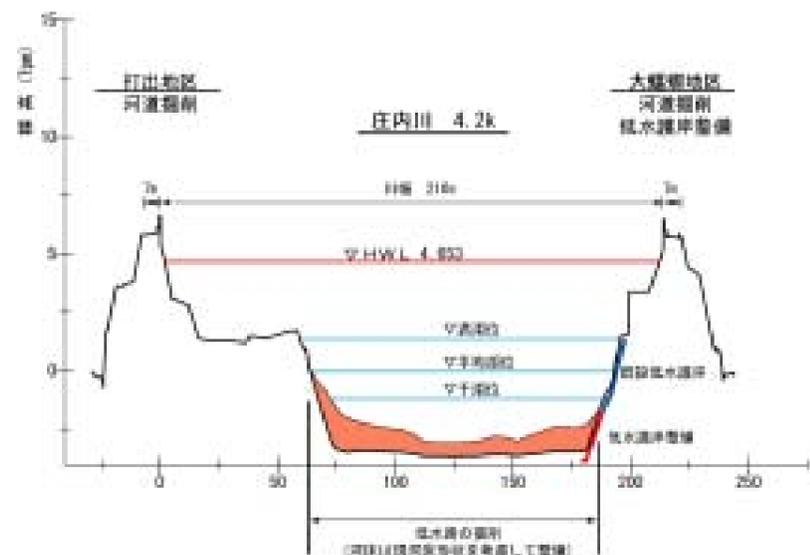


河川整備計画の目標流量（案）に対する水位縦断図（矢田川全川）

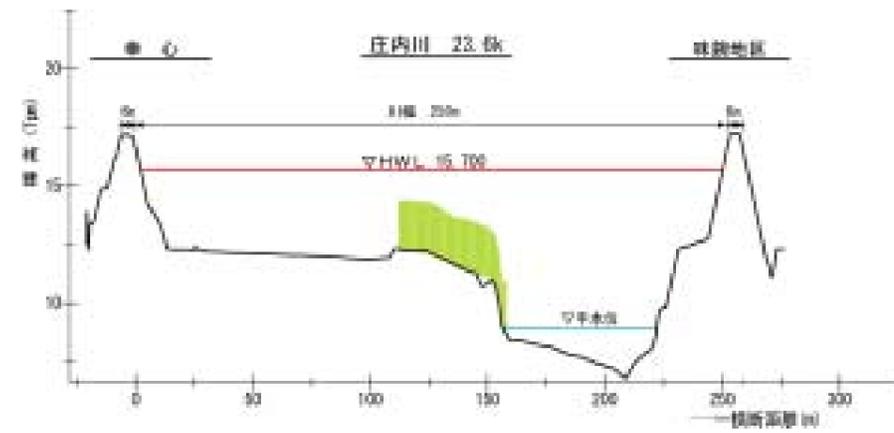
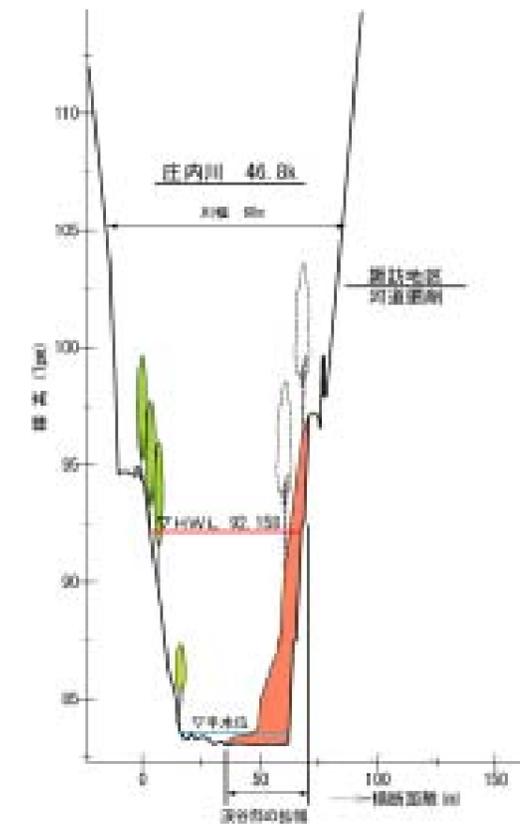
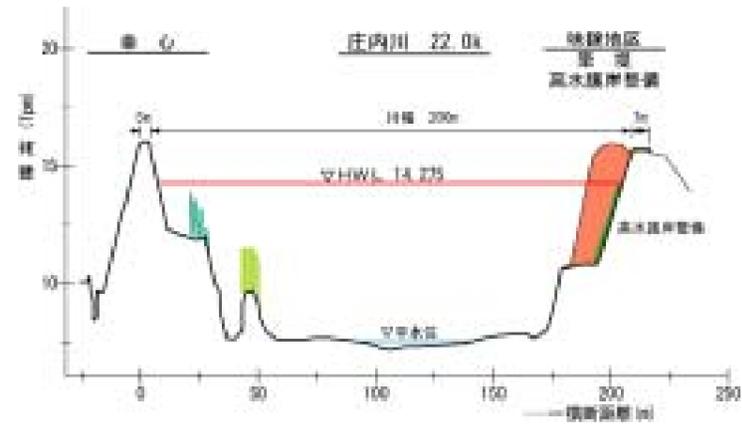
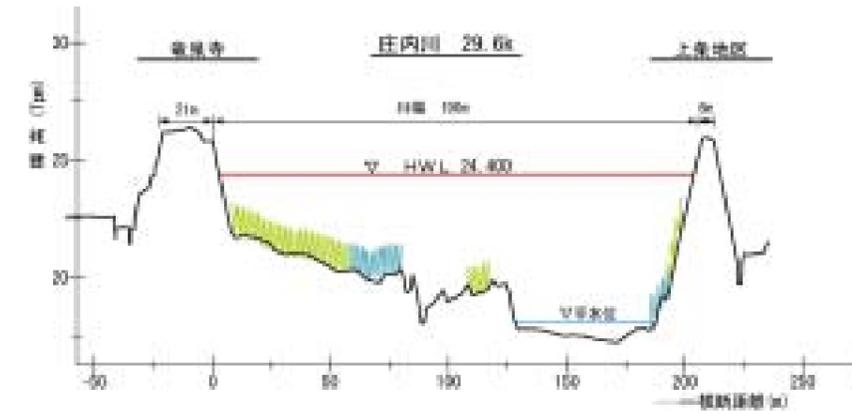
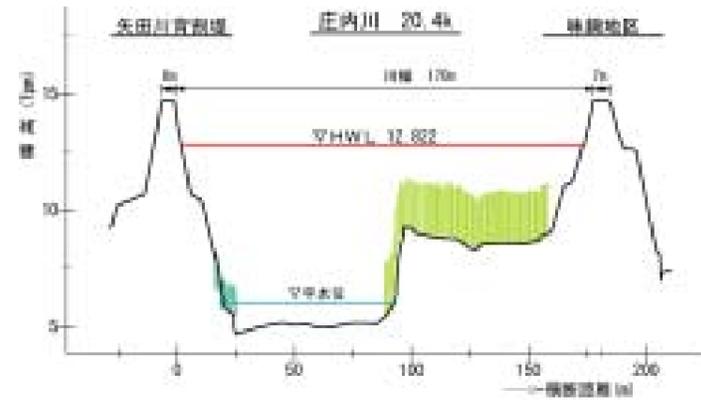
3. 整備計画(治水)(案)標準横断面図

縮尺  
縦: 1/300  
横: 1/3000

縮尺  
縦: 1/300  
横: 1/3000

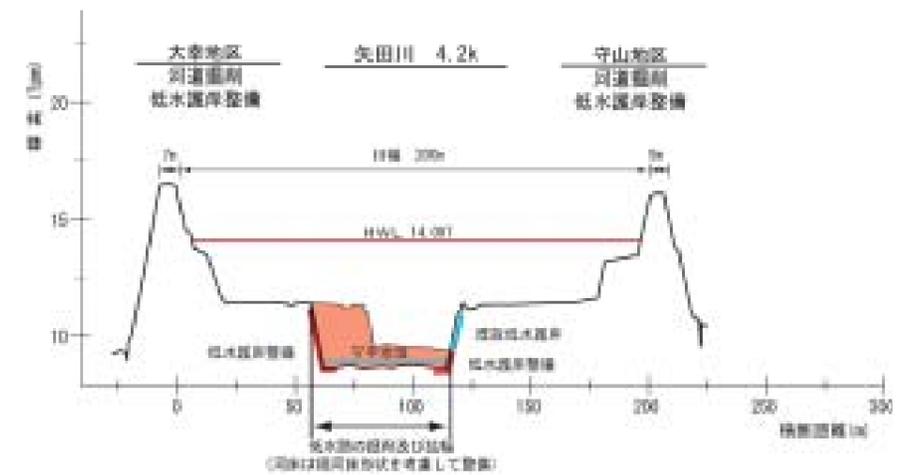
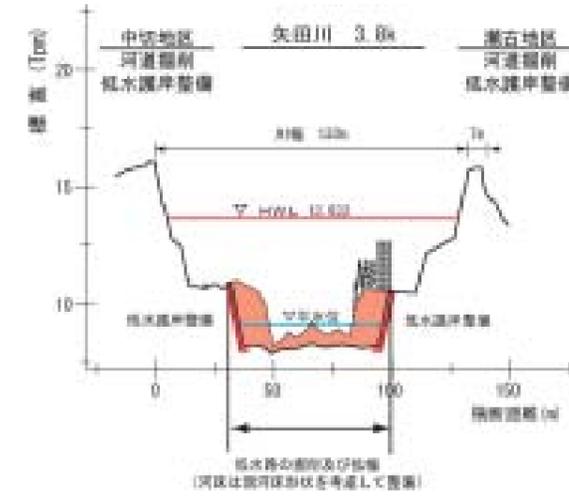
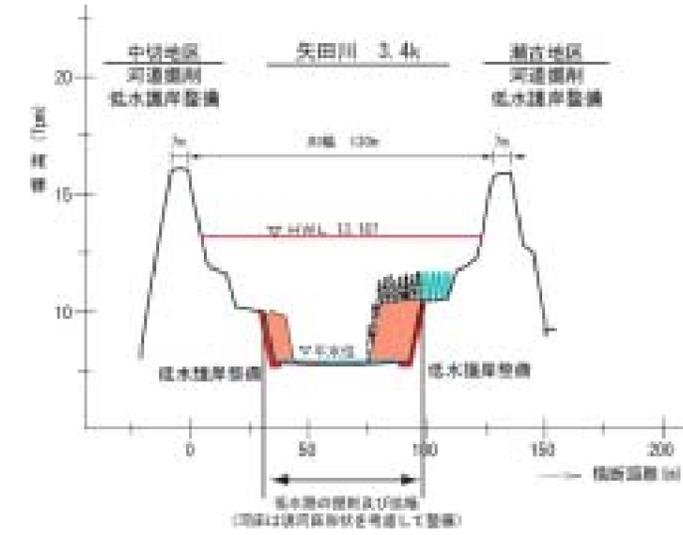
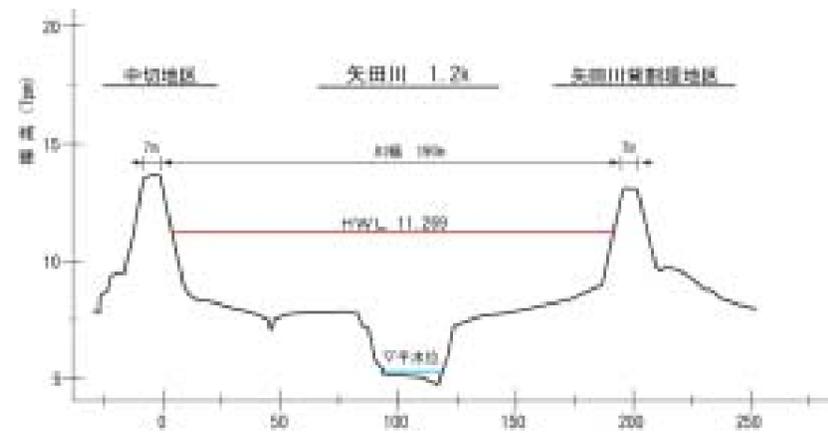
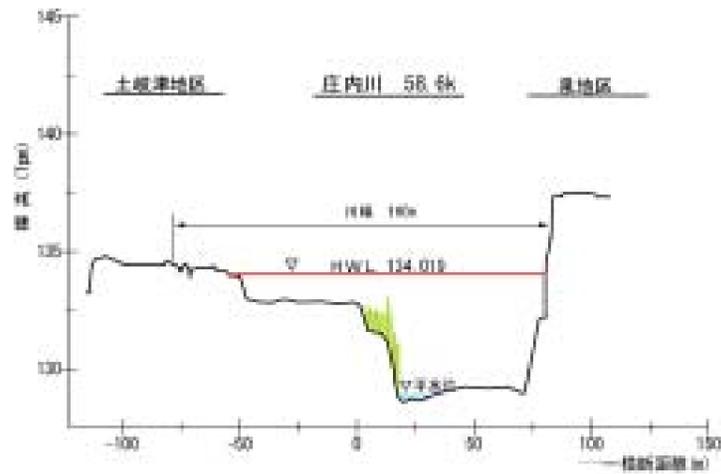
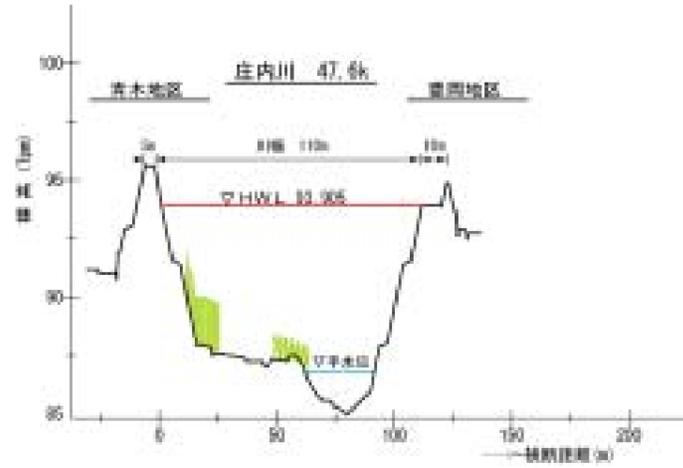


縮尺  
 縦：1/300  
 横：1/3000



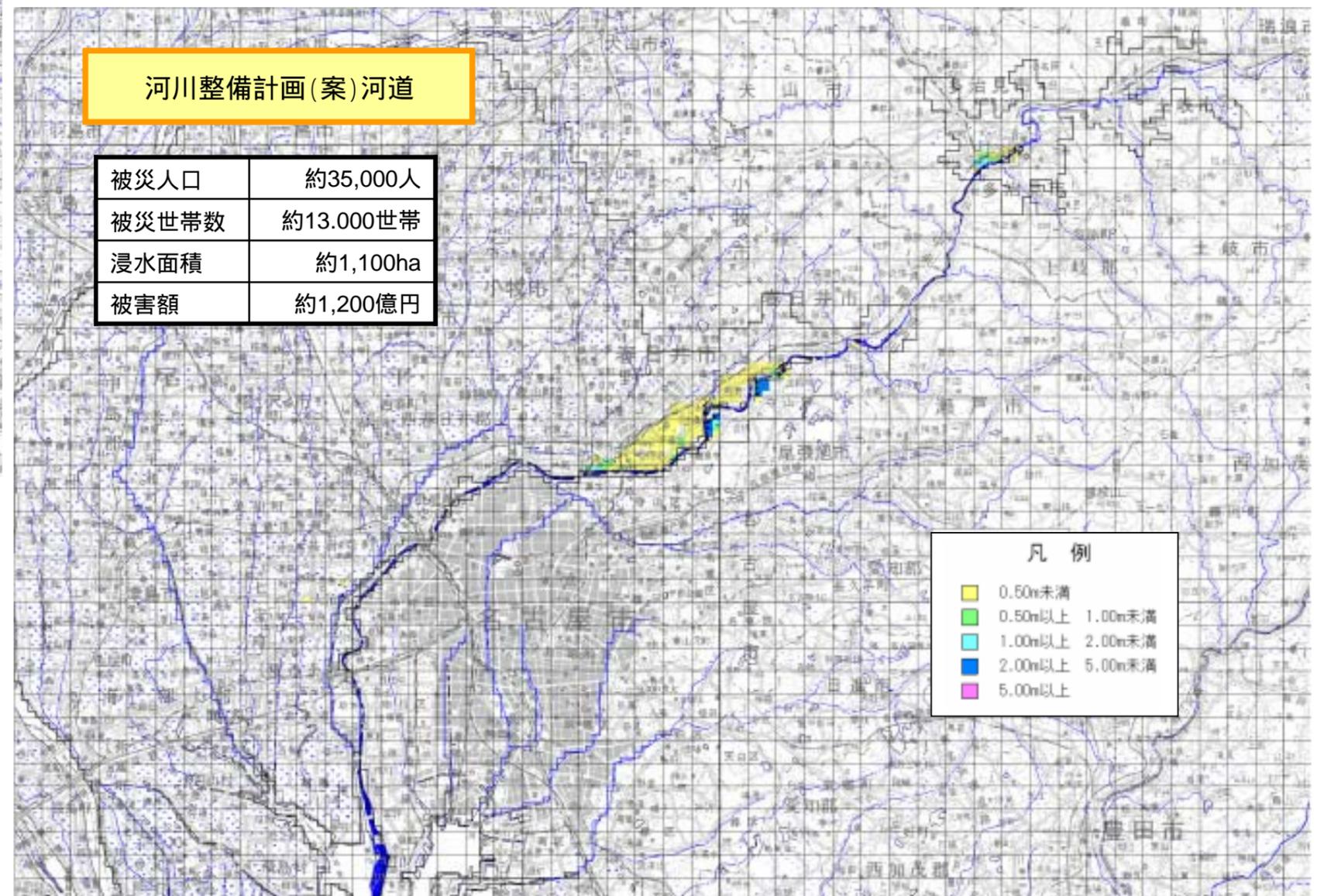
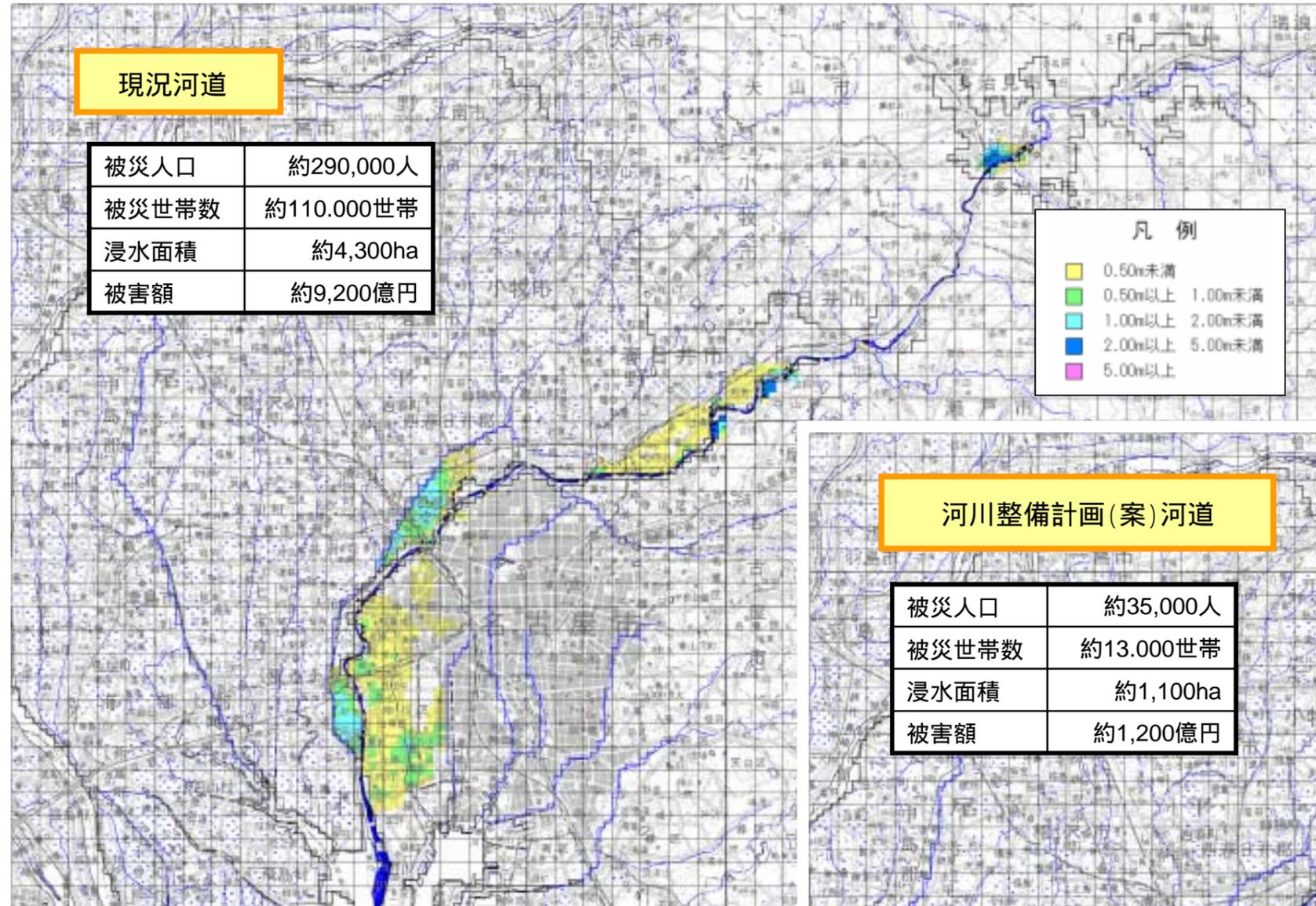
縮尺  
 縦：1/300  
 横：1/3000

縮尺  
縦：1/300  
横：1/3000



縮尺  
縦：1/300  
横：1/3000

4. 超過洪水(1/500)により越水氾濫が発生した時の氾濫浸水図の比較



破堤しない条件